

## 【実践報告6】

# カリキュラム・マネジメントの在り方に関する研究の取組

—東浦高校創立 50 周年に向けて—

県立東浦高等学校 教諭 玉田 裕

## 1 はじめに

東浦高校は、昭和48（1973）年度に当時の刈谷高校東浦分校から独立開校し、今年で47年目を向かえる。現在は、普通科5クラスの募集をしている。平成22年度から情報活用コース（本年度より情報ビジネスコースに改称）が、平成24年度から特別進学類型がそれぞれ設置されることにより、入学生の多様な進路希望に応えられるよう体制を整えてきた。また、学校行事や部活動の活性化にも取り組むことで、生徒が充実した学校生活を送ることができるようになった。それらに伴って、入学生の成績も次第に向上してきた。

学校の経営方針は「生徒の成長を第一に考える学校づくりを推進する」ことで、それに沿った教育活動を行うことが求められている。しかし、授業改善や生徒の学力向上に対する指導についてはまだ十分とは言い切れず、家庭学習の習慣が身に付いていない生徒も数多く存在し、また、成績上位の生徒への対応にも課題が見られる。さらに、現在設置をしている情報ビジネスコースや特別進学類型についても、より活性化すべきであるとの職員の声は大きい。

今回、学校内外のさまざまな教育活動についてカリキュラム・マネジメントの視点で見直し、全職員で学校改善に取り組むことにより、教育目標の実現に向けた継続的な取組のきっかけとしたい。

## 2 研究の経過

### (1) グランドデザインの作成（カリキュラム・マネジメントについての理解、教育目標（目指す生徒像）の共通理解）

#### ① 学校の教育目標の実現に向けた現状の把握

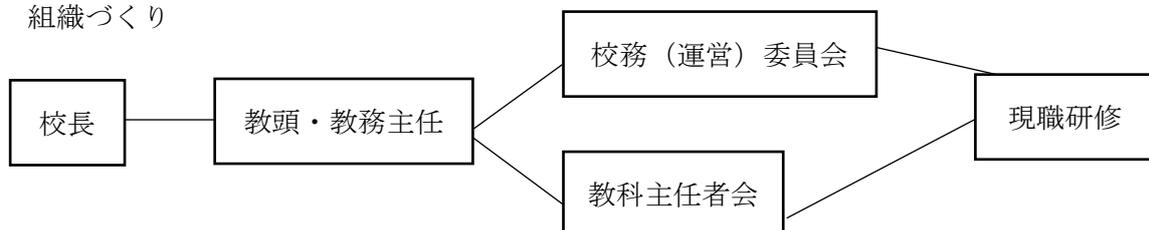
- ア 生徒についての現状分析（教務主任と管理職による分析）
- イ 学校の内部・外部環境の分析（SWOT分析シート）
- ウ 学校の現状と課題の把握（カリキュラム・マネジメント検討シート）
- エ 校長と職員との面談で出された項目についてのアンケート

#### ② 学校の特色づくりに向けた取組

- ア 創立50周年に向けた「本校としての目指す生徒像」の検討
- イ 創立50周年に向けた「東浦高校の生徒に身に付けさせたい資質・能力」についての検討
- ウ 学校の現状・課題・将来像に基づいた学校経営の共有化  
(カリキュラム・マネジメント分析シート)

#### ③ グランドデザインの作成

組織づくり



## (2) 育成を目指す資質・能力と関連付けた授業改善

- ① 各教科等で育成を目指す資質・能力の検討  
(資質・能力の育成に向けたカリキュラム・マネジメントシート)  
(各教科でのカリキュラム・マネジメントシート)
- ② 単元配列表の作成
- ③ 育成を目指す資質・能力との関連を意識した授業実践

## (3) 学校の教育目標の実現に向けた取組

### ① 平成30年度

- |           |   |
|-----------|---|
| 6月14日(木)  | カリキュラム・マネジメントの在り方の研究について趣旨説明<br>カリキュラム・マネジメント検討用シートの記入方法について説明                  |
| 6月20日(水)  | カリキュラム・マネジメント検討用シート提出   |
| 7月20日(金)  | カリキュラム・マネジメント検討用シートを教頭・教務主任で分析, 校長へ報告   |
| 8月3日(金)   | 現職研修(育成を目指す資質・能力を踏まえた授業改善研修)実施  |
| 9月20日(木)  | 「東浦高校改善のための課題について」のアンケート実施  |
| 10月1日(月)  | カリキュラム・マネジメント検討用シートの備考欄の記入が少なく, 校務(運営)委員に備考欄への記載を依頼(10月末まで)                     |
| 10月11日(木) | 「東浦高校改善のための課題について」のアンケート集計結果配付  |
| 11月5日(月)  | カリキュラム・マネジメント分析シート配付<br>「東浦高校改善のための課題について」のアンケートを踏まえ, 次年度の重点目標を定めるよう依頼(1月21日まで) |
| 11月19日(月) | 東浦高校創立50周年に向けて, 各分掌・教科において, 生徒にどんな資質・能力を身に付けさせたいかを検討(11月29日提出)                  |
| 12月3日(月)  | 総合教育センター所員 来校指導   |
| 1月末       | 各教科でのカリキュラム・マネジメントシート提出   |
| 2月1日(金)   | 資質・能力の育成に向けたカリキュラム・マネジメントシート作成  |

### ② 令和元(平成31)年度

- |          |   |
|----------|---|
| 4月2日(火)  | カリキュラム・マネジメントについての共通理解<br>グランドデザインについての共通理解   |
| 4月中      | 各分掌・学年・教科において, 教育目標実現に向けた取組・目標を決定<br>単元配列表完成  |
| 5月23日(木) | カリキュラム・マネジメント検討用シートに取り組む  |
| 6月13日(木) | 生徒に対するカリキュラム・マネジメントについてのアンケート実施   |
| 6月10日(月) | 名古屋大学大学院 柴田好章 教授 来校指導<br>育成を目指す資質・能力との関連を意識した授業の実践<br>授業1 3年生国語 研究授業 授業2 3年生英語 研究授業 |
| 7月中      | 1学期の振り返りと2学期の取組を決定  |
| 8月2日(金)  | 現職研修実施(SWOT分析の実施, 個人単位での1学期の振り返りと2学期の取組を発表)   |
| 10月4日(金) | 「東浦高校改善のための課題について」のアンケート実施  |

- 10月31日（木） 「東浦高校改善のための課題について」のアンケートを踏まえた次年度の重点目標を定めるよう依頼
- 11月11日（月）～15日（金） 公開授業週間  
1学期の振り返りを踏まえた教科横断の意識をもった授業の実践
- 12月2日～23日（月） 「生徒カリキュラム・マネジメントアンケート」実施
- 12月23日（月） 現職研修  
2学期の振り返り及び、来年度への取組検討  
「カリキュラム・マネジメントの在り方に関する研究について」の職員アンケート実施

#### (4) 評価・改善について

- ① 生徒の評価  
カリキュラム・マネジメントについてのアンケート  
第1回（令和元年6月13日実施） 第2回（令和元年12月2日～23日）
- ② 学校の教育活動全体を通じた取組の評価  
カリキュラム・マネジメント検討シート（令和元年5月23日実施）
- ③ 「教育目標（目指す生徒像）に近づいているかどうか」の評価  
教育目標と本校の課題に関するアンケート（令和元年10月4日実施）
- ④ 職員の評価  
「カリキュラム・マネジメントの在り方に関する研究」アンケート（令和元年12月23日）

### 3 研究の目的

以前より本校はさまざまな教育課題を抱えていたが、それらを全職員で解決しようという学校改善の動きはあまり見られなかった。ゆえに、以前から校長のリーダーシップの下、教員一人一人の意見をまとめ、学校改善のための教育目標を作成する必要性を強く感じていた。今回、カリキュラム・マネジメントの在り方に関する研究の目的を次のとおりとする。

- (1) 全職員で教育課題を認識し共有すること
- (2) 本校として解決すべき問題を整理すること
- (3) (1)、(2)を踏まえて、新たな教育目標やグランドデザインを作成し、教員一人一人が主体的に教育目標の達成を目指す体制をつくること

### 4 研究の方法

前述の目的を達成するために、次の四つの視点から研究を行った。

- (1) 教育目標（目指す生徒像）の共通理解を図るための校内研修
- (2) 育成を目指す資質・能力と関連付けた授業改善
- (3) 育成を目指す資質・能力の視点からの評価・改善の取組
- (4) 授業研究、評価データを基にしたカリキュラムの改善

- (1) 教育目標（目指す生徒像）の共通理解を図るための校内研修

新たな教育目標を確立するためには、まず現状の分析が重要である。前年度は管理職と教務主任で、

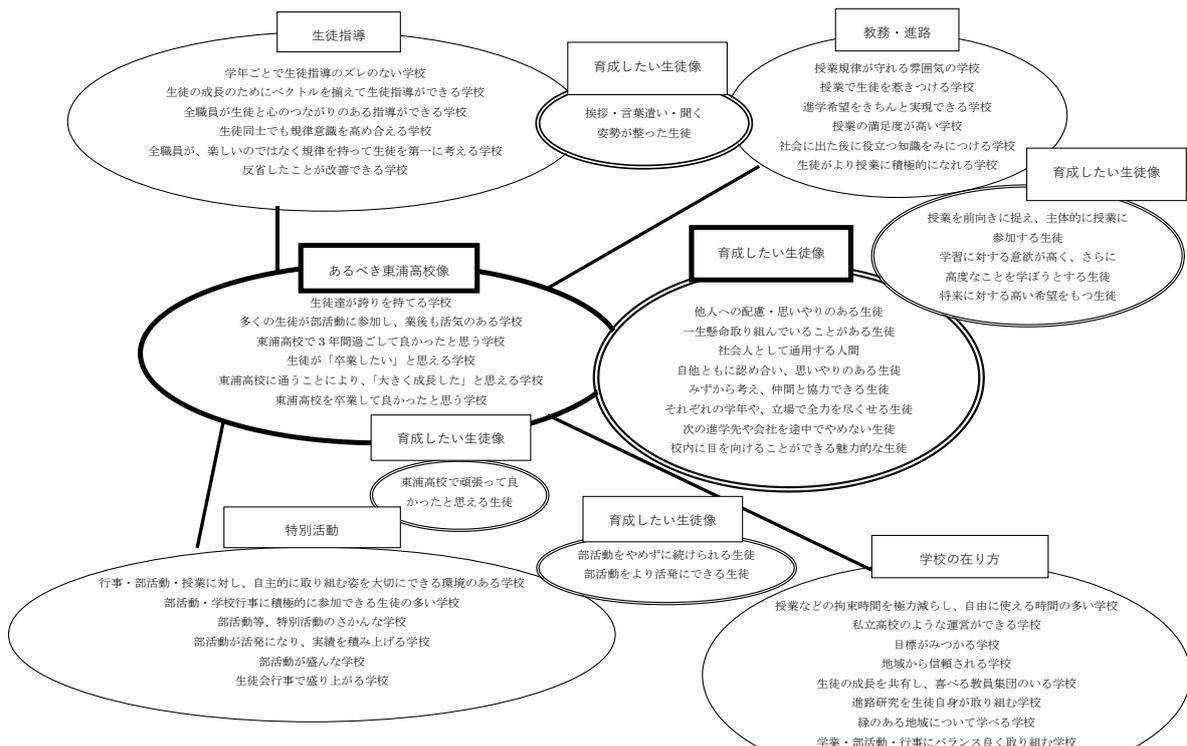
生徒の現状分析とSWOT分析を行った。ただし、そこで考えられた学校の将来像はさまざまであり、まとめることは困難であった。そこで、他の教職員の協力を得て「カリキュラム・マネジメント検討シート」を用いて現状把握を行うことにした。ただ、「カリキュラム・マネジメント検討シート」は、定められた項目について4段階で回答するので、客観的で経過を測定するには向いているが、一方で本校独自の課題について知ることは難しい。そこで、校長と教職員との面談で挙げられた本校の課題をまとめ、全教職員に対してアンケートも実施することにした(資料1)。結果として、今後東浦高校をどのように改善していけばよいのかという点で参考になった。そして、新たに教育目標を検討する際に、3年後に迎える創立50周年に向けた目標を考えた。具体的には、現職研修として「本校の目指す生徒像」(資料2)と「本校の生徒に身に付けさせたい資質・能力」(資料3, 4)を検討し、全教職員で共有した。また、カリキュラム・マネジメント分析シートについて協議し、本校の現状の全体像も把握した。さらに、外部からの評価については、学校経営案を参照しながら、学校評議員による学校評価について共通の理解を得た。

【資料1 本校の課題についてのアンケート(抜粋)】 添付資料1

質問2		以下の項目について、「評価」欄に4段階で当てはまるものに○を記入してください			
要素	項目	評価			
		4 3.25~	3 2.5~	2 1.75~	1 ~1.75
C【本校の課題】					
教務関係の課題	1 現在の少人数展開を維持すべきだと思う	平均 3.51			
	人数	21	11	4	0
	2 授業時数の確保をしっかりとすべきだと思う	平均 2.71			
	人数	7	16	8	4
	3 特別進学クラスの在り方を検討すべきだと思う	平均 3.61			
	人数	25	9	1	1
	4 生徒に家庭学習の時間を十分に確保させるべきだと思う	平均 3.31			
	人数	14	18	2	3
	5 定期考査問題の難易度を上げるべきだと思う	平均 2.6→			
人数	4	17	12	3	
生徒指導関係の課題	6 学習に対する意欲、理解力をもっと高めるべきだと思う	平均 3.31			
	人数	15	19	1	1
	7 成績上位の生徒の満足度をより向上させるべきだと思う	平均 3.41			
	人数	19	12	1	2
	8 各種の現職研修に力を入れるべきだと思う	平均 2.61			
	人数	5	13	12	4
	9 学習指導にもっと力を入れるべきだと思う	平均 2.91			
	人数	8	21	4	3
	10 身だしなみ指導のやり方を維持すべきだと思う	平均 3.11			
人数	12	18	5	1	
11 時代の変化に合わせ生徒指導の基準を変えるべきだと思う	平均 2.91				
人数	9	16	10	1	
12 生徒指導における学年間の連携やコミュニケーションを強化すべきだと思う	平均 3.31				
人数	16	17	2	1	
13 アルバイトは現在より規制をかけるべきだと思う	平均 3.4→				
人数	20	12	4	0	
14 生徒指導にもっと力を入れるべきだと思う	平均 2.8→				
人数	4	23	8	1	

【資料2 本校の目指す生徒像】

添付資料2



【資料3 本校の生徒に身に付けさせたい能力 (教科)】 **添付資料3**

東浦高校の生徒に付けさせたい資質・能力【各教科】		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
<b>【国語】</b> ・文章の論理展開（情報と情報との関係）を理解できる能力 ・情報を整理する能力 ・古典などを通して日本や中国の文化の特質を理解する。また地理的・歴史的な関係に興味を持つ。 ・言語文化に対する知識・能力  <b>【地理・公民】</b> ・知っていることを結びつけて物事を記憶する能力  <b>【数学】</b> ・計算する能力 ・統計的に処理する能力  <b>【理科】</b> ・計算能力  <b>【保健体育】</b> ・危機管理能力 ・体力  <b>【芸術】</b> ・芸術を愛好する能力 ・音楽の三要素を理解し、役割を認識して演奏する能力 ・諸国の芸術に触れ、日本の芸術との違いを理解する能力  <b>【英語】</b> ・英語を使って簡単なやり取りができる能力 ・基本的な英語の知識・能力  <b>【家庭】</b> ・消費者の立場を理解し、正しく行動できる能力 ・男女が協力して学習することができる能力  <b>【情報】</b> ・情報活用能力	<b>【国語】</b> ・適切な情報を収集し、取捨選択、整理する能力 ・情報処理能力 ・自分の伝えたい内容を分かりやすく表現したり、相手の話す内容を聞き、理解する（共有する） ・語彙力を高め、周りの人に気遣いながら自分の気持ちを表せる能力  <b>【地理・公民】</b> ・人の気持ちや考えを推察する能力 ・ある事象から起こりうる事を推察する能力 ・過去から学び現在・未来へと活かす能力  <b>【数学】</b> ・他人に自分の考えを伝える能力 ・他人の考えを受け入れる能力  <b>【理科】</b> ・論理的に考える能力 ・自分の考えを伝える能力  <b>【保健体育】</b> ・コミュニケーション能力 ・自己肯定感  <b>【芸術】</b> ・作品の仕上がりを意識し、工夫する能力 ・他の作品（演奏）から良さを見つける能力 ・楽器・道具を大切にし、管理する能力  <b>【英語】</b> ・人の意見や聞き自分の意見を伝える能力 ・屈折ではなく、知識と知識を結びつけ、身につける能力  <b>【家庭】</b> ・健康や栄養に配慮して生活する能力 ・自分のライフスタイルをデザインすることができる能力  <b>【情報】</b> ・問題解決能力 ・論理的思考力 ・コミュニケーション能力	<b>【国語】</b> ・読書を通じて新しい知識を得たり、見識を広め、深める能力  <b>【地理・公民】</b> ・社会について関心を持ち、知ろうとする能力  <b>【数学】</b> ・新しいことを学ぼうとする能力  <b>【理科】</b> ・自ら考える能力 ・物事に興味を持つ能力  <b>【保健体育】</b> ・リーダーシップ能力  <b>【芸術】</b> ・芸術の活動に自信を持って取り組む能力 ・他者を意識し、美しさを求める能力 ・楽器・道具を大切にし、管理する能力  <b>【英語】</b> ・自己肯定感 ・異質な物や変化に対応する能力 ・困難や苦手に直面してもあきらめない能力 ・自主的に学ぶ能力  <b>【家庭】</b> ・他の世代や地域の人々を思いやる能力 ・自分のライフスタイルをデザインすることができる能力  <b>【情報】</b> ・主体的行動力 ・チームワーク力

※白抜きは他の教科・項目と共通する項目

【資料4 本校の生徒に身に付けさせたい能力 (分掌・学年)】 **添付資料4**

東浦高校の生徒に付けさせたい資質・能力【各分掌・学年】		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
<b>【教務】</b> ・家庭学習をする能力 <b>【道徳指導】</b> ・各教科の基礎的・基本的な知識・技能能力 ・道徳を実現するために必要な学力 <b>【特別活動】</b> ・部活動に積極的に参加する力 <b>【3学年】</b> ・自分の考えを正しく漢字を用いて表現できる語彙に関する能力 ・外国語が理解できる程度の英単語に関する能力	<b>【道徳指導】</b> ・物事を論理的に考える力 <b>【保健厚生】</b> ・自己管理能力 ・自分の意見を伝える力 ・コミュニケーション能力 ・礼儀正しく振る舞える能力 <b>【特別活動】</b> ・生徒会行事に全力をつく力 ・何事にも主体的に取り組む力 <b>【3学年】</b> ・自分の考えを正しく漢字を用いて表現できる語彙に関する能力 ・外国語が理解できる程度の英単語に関する能力	<b>【総務】</b> ・自分の母校として東浦高校に誇りを持つ能力 ・提出物を期限内に着実に提出する能力 ・家庭に学校からの連絡を着実に知らせ、家庭と学校のコミュニケーション円滑にする能力 ・知多と東浦の地元と密着し、愛郷心や郷土愛を持つ能力 ・卒業後、地域の担い手として社会で活躍できる能力 ・学校行事に積極的に参加し、愛校心を育む能力 ・コミュニケーション能力を高め、人間関係をスムーズにする能力 ・50周年に向けて、同窓生としての自覚を持つ能力 <b>【教務】</b> ・授業を大切にできる能力 ・学校生活を肯定的に捉えることができる能力 ・基本的な生活習慣を身につける能力 ・本来（標準的）の高校生姿を理解し、自発的な行動に移せる能力 <b>【生徒指導】</b> ・ルールを守る力・自ら進んで協力できる力 ・社会規範（社会常識）を身につける力 ・社会性をお互いに高め合える力・自立できる力 <b>【道徳指導】</b> ・自ら学び続ける力・家庭で学習する力 <b>【保健厚生】</b> ・授業を大切にできる力 <b>【特別活動】</b> ・ボランティア活動に積極的に参加する力 <b>【1学年】</b> ・素直な心・授業を大切にできる力・部活動に参加する力 ・信頼関係を構築する力・ルール・マナーを守る力 <b>【2学年】</b> ・我慢する力・礼儀正しく生きる力・社会に役立つ力・人を思いやる力 ・自己肯定感・言葉遣い <b>【3学年】</b> ・1回、1週間、1月間を単位に自分の学校生活のスケジュールを管理する能力

【資料5 2019東浦高等学校 グランドデザイン】 **添付資料5**

これらの研修で「見える化」した情報を校長に報告し、「学校重点目標」が策定された。そして、それを踏まえ「学校全体の取組」「学習指導・生徒指導」「地域連携」の項目について各分掌で検討した。こうして最終的には、「2019東浦高等学校 グランドデザイン」としてまとめることができた（資料5）。グランドデザインは、校内において職員室と各ホームルームに掲示して生徒と教員に周知している。また、外部について学校のウェブページの中で情報発信をしているところである。



(2) 育成を目指す資質・能力と関連付けた授業改善

グランドデザインを踏まえた教育活動を行う中で、教育目標を具体化し、いかに授業実践に落とし込んでいくかについて検討することにした。

まず、「各教科等で育成できる資質・能力」の策定に取り組んだ。これについては「資質・能力の育成に向けたカリキュラム・マネジメントシート」を活用し、各教科主任で策定することにした。結果として、教育目標に向けた各教科の取組の大枠を定めることができた。

次に、確かな学力を支える資質・能力の三つの柱「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」について、学年ごとに生徒にどんな能力を身に付けさせたいのかについて「各教科のカリキュラム・マネジメントシート」を用いて考え、各教科で「教育目標実現のための取組表」を作成した(資料7, 9)。そして、これを基にして、各教員で最終的にどのように授業に落とし込んでいくかについて考え、授業案を作成した。また、教科等横断の意識をより高くもつために「単元配列表」を作成し、いつ、どの単元で、どの教科と横断して授業実践していくのかを決めた(資料6)。

【資料6 単元配列表(1年生)】

添付資料6

2019年度 1年生 単元配列表				087愛知県立東浦高等学校									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
国語総合	現代文	世界は腰に落ちている(手塚治虫)	世界は腰に落ちている(手塚治虫) 羅生門(芥川龍之介) 三交にて(蘭二)	羅生門(芥川龍之介)	羅生門(芥川龍之介)	氷の東西(山崎正和)	氷の東西(山崎正和) とんかつ(三浦哲郎)	とんかつ(三浦哲郎)	短歌 与謝野晶子・石川啄木・若山牧水・斎藤茂吉まで	短歌 与謝野晶子・石川啄木・若山牧水・斎藤茂吉まで	日本語万華鏡(鈴木孝夫)	日本語万華鏡(鈴木孝夫)	俳句
	古典	兄のそら(古典文法「助詞」)	竹取物語 古典文法「助詞」	竹取物語 古典文法「助詞」	古典文法「形容詞・形容動詞」	徒然草 古典文法「助動詞(過去・完了・打消)」	徒然草 古典文法「助動詞(過去・完了・打消)」	徒然草 「蛇足」「鶏口牛後」	伊勢物語「東下り」 古典文法「助動詞」	伊勢物語「東下り」 古典文法「助動詞」	伊勢物語「東下り」 古典文法「助動詞」	伊勢物語「東下り」 古典文法「助動詞」	伊勢物語「東下り」 古典文法「助動詞」
公民 現代社会	環境問題	資源エネルギー問題 人口問題	資源エネルギー問題 人口問題	生命化学 情報技術	青年期の課題 自分らしく生きる	現代国家と民主政治	現代国家と民主政治	現代国家と民主政治	日本国憲法 日本の政治機構	市民の政治参加 基本的な権	現代の経済社会	日本経済の特質	国民生活について
数学 I・A	式の計算 場合の数	式の計算 場合の数	1次不等式 集合と命題 確率	集合と命題 確率	2次関数 確率 平面図形	2次関数 確率 平面図形	2次関数の値の変化 平面図形	2次方程式と2次不等式 平面図形	図形と計量 空間図形	三角関数の応用 約数と倍数	データの分析 ユークリッド互除法	データの分析 整数の性質の活用	
理科 化学基礎	科学と人間生活	単体・化合物・混合物	物質の三態	物質の構成	電子配置と周期表	化学反応式 様々な結合	化学反応式と量的関係 物質質量	化学反応式と量的関係 物質質量	化学反応式と量的関係 物質質量	中和 酸化と還元			
総合	野外活動	進路適性検査から進路選択に向けて	親近感養育:生徒・保護者との話し合い 文化祭に向けて	文化祭準備 進路適性検査 大学見学会に向けて 基礎力診断テスト受験 結果を基に個人面談	文化祭準備 進路適性検査 大学見学会に向けて 基礎力診断テスト受験 結果を基に個人面談	大学見学会に向けて 調べ学習 大学見学会と振り返り	進路相談室と振り返り 進路相談室	福祉実践教室に向けて 福祉実践教室と振り返り	福祉実践教室に向けて 福祉実践教室と振り返り	進路希望調査 進路希望別学習 大学・専門はオープンキャンパス参加に向けて 基礎力診断テスト受験 結果を基に個人面談			
体育	集団行動 体づく運動	球技① 男子・ソフトボール 女子・バレーボール・バスケットボール	陸上・100M 三段跳び・砲丸投げ	球技② 男子・バレーボール 女子・バスケットボール・ソフトボール	球技③ 男子・バレーボール 女子・バスケットボール・ソフトボール	球技④ 男子・バレーボール 女子・バスケットボール・ソフトボール	球技⑤ 男子・バレーボール 女子・バスケットボール・ソフトボール	球技⑥ 男子・バレーボール 女子・バスケットボール・ソフトボール	球技⑦ 男子・バレーボール 女子・バスケットボール・ソフトボール	球技⑧ 男子・バレーボール 女子・バスケットボール・ソフトボール	球技⑨ 男子・バレーボール 女子・バスケットボール・ソフトボール	球技⑩ 男子・バレーボール 女子・バスケットボール・ソフトボール	まとめ
芸術 音楽 I	オリエンテーション 歌唱 「校歌」「手紙」	リコーダー音階 「喜びの歌」歌唱「夏は来ぬ」 合唱「手紙」	音楽・リコーダー 「こはれなると来清らしい音」 歌唱「Caro mio ben」	音楽・リコーダー 「こはれなると来清らしい音」 歌唱「Caro mio ben」	音楽・リコーダー 「こはれなると来清らしい音」 歌唱「Caro mio ben」	音楽・リコーダー 「こはれなると来清らしい音」 歌唱「Caro mio ben」	音楽・リコーダー 「こはれなると来清らしい音」 歌唱「Caro mio ben」	音楽・リコーダー 「こはれなると来清らしい音」 歌唱「Caro mio ben」	音楽・リコーダー 「こはれなると来清らしい音」 歌唱「Caro mio ben」	音楽・リコーダー 「こはれなると来清らしい音」 歌唱「Caro mio ben」	音楽・リコーダー 「こはれなると来清らしい音」 歌唱「Caro mio ben」	音楽・リコーダー 「こはれなると来清らしい音」 歌唱「Caro mio ben」	音楽・リコーダー 「こはれなると来清らしい音」 歌唱「Caro mio ben」
芸術 美術 I	オリエンテーション	鉛筆デッサン(幾何学形態)	色彩構成	鉛筆デッサン(幾何学形態)	色彩構成	鉛筆デッサン(幾何学形態)	色彩構成	鉛筆デッサン(幾何学形態)	色彩構成	鉛筆デッサン(幾何学形態)	色彩構成	鉛筆デッサン(幾何学形態)	色彩構成
英語 コミュニケーション I	Kerama Blue 沖縄文化:珊瑚保全	Cool Japan 日本の魅力発見	Mexican Dishes メキシコ食文化	The Olympics 近代五輪・パラ五輪	Baobab in Madagascar パオバブの保全・環境問題	Toothbrushing in Edo 江戸時代の生活習慣	Machu Pichu マチュ・ピチュの文化	Motels and Landmines タイの国内事情	Dick Bruna ディック・ブルーナの社会的役割	Tsujii, the Great Pianist 辻井伸行について			
英語 英語表現 I	品詞・語類 現在形・be動詞/一般動詞	過去形・be動詞/一般動詞	未来表現 will/be動詞 現在完了形	現在完了形 助動詞	助動詞 不定詞	不定詞 動名詞	受動形 関係代名詞	関係代名詞 関係副詞	比較 知覚動詞/使役動詞	不定法過去			
家庭科 家庭基礎	青年期の自立と家族・家庭	生涯の生活設計	子どもの発達と保育	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	高齢期の生活	共生社会と福祉	生活の自立及び消費と環境	ライフスタイルと環境	食事と健康	栄養と食事	食品と調理		
情報 社会と情報	1章 1節 情報社会 2節 情報とメディア 文字打ちの練習、Wordの基本操作、文書作成	1章 3節 情報モラルと社会のルール 2章 1節 情報機器とデジタル文化 文字打ちの練習、Power Pointの基本操作、個人作品作成	2章 2節 デジタル表現 プレゼンテーション(個人作品の発表)										

令和元年6月10日に行われた名古屋大学大学院柴田好章教授の訪問指導では、2名の教員の授業を参観していただいた。一人は英語科の教員で3年生の担当、もう一人は国語科の教員で同じく3年生の担当である。2名の教員には、各教科で教育目標実現のための取組を踏まえた授業の実践を依頼して、準備をしてもらった。

【資料7 教育目標実現のための取組表(英語科)】

① 英語科の教育目標実現のための取組

授業の担当教員は、教科で作成した「教育目標実現のための取組表」に基づいて、授業に当たり「カリキュラム・マネジメントを意識した授業実践用紙」を作成し、授業を参観する教員に配付した。参観した教員はそのシートを基に授業者の取組を評価した(資料7, 8)。

学校教育目標 「知性を磨き、必要判断力をもつ」「自信を養い、積極的な社会性のある」「心豊かさを、責任と実行力のある」			
本校の児童・生徒につけさせたい資質・能力 「他者に対する配慮・思いやりの心」「まっすぐに取り組む姿勢」「自ら考えて判断、行動する力」「仲間と協力する姿勢」「困難を前にしても、くじけず、あきらめず、努力する生徒」			
教科で生徒に身につけさせたい力	困難を前にしても、くじけず、あきらめず、努力する生徒		
1年次の重点目標	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
2年次の重点目標	基本的な英語の知識・能力	暗記ではなく、知識と知識を結びつけて身につける能力	自主的に学ぶ能力
3年次の重点目標	英語で簡単なやりとりができる能力	自分の意見を伝える能力	異質なものと変化に対応する能力
	豊富な表現を用いて、やりとりができる能力	人の意見を聞き、自分の意見を伝える能力	困難や苦手なものに直面してもあきらめない能力
重要単元	1年: Kerama Blue 沖縄文化:珊瑚保全 (コミュニケーション I) 2年: Flowers in the Tomb 考古学について (コミュニケーション II) 3年: Future Jobs (英語会話)		
関連させる教科・単元	教科 1年: 現代社会 2年: 世界史B 3年: 政治経済	単元 1年: 環境問題 2年: 古代オリエント 3年: 国際経済の動向	

授業後の研究討議において、柴田教授からは、「最初の自己開示の活動がよかった。授業のゴールを最初に明示したのはとても分かりやすかった」と高評していただいた。一方で、目標が「困難を前にしても、くじけず、あきらめず、努力する」という目標であったので、生徒自身がその目標に対して十分に取組めたかどうかについては課題が残った。



【写真1 英語の授業の様子】

② 国語科の教育目標実現のための取組

英語科と同様に、授業担当教員は、教科で作成した「教育目標実現のための取組表」に基づいて、「カリキュラム・マネジメントを意識した授業実践用紙」を作成して、授業を行った(資料9, 資料10)。

国語の授業の目標は「自ら考えて判断し、行動する姿勢を身に付ける」というもので、授業を通して「考える時間」を多くとっていた。柴田教授からは「ワークシートが分かりやすい」「見通しをもった授業を実践している」と高評をいただいた。一方で、「教科横断を意識して、日本史Bの教科書を授業で使用していたが、授業者のねらいが生徒に伝わったかは疑問である」というコメントもあった。



【写真2 国語の授業の様子】

【資料8 カリキュラム・マネジメントを意識した授業実践用紙(英語の例)】

カリキュラム・マネジメントを意識した授業実践					
授業日	6月10日	担当教科	英語	授業者氏名	
担当教科の重点目標	困難を前にしても、くじけず、あきらめず、努力する生徒				
本日の単元	Lesson8 PP, Old and New				
本授業でもっとも見てもらいたい観点	優先順位(数字)	身に付けさせたい資質・能力			
	2	知識・技能	豊富な表現を用いて、やりとりができる能力		
	3	思考力・判断力・表現力	人の意見を聞き、自分の意見を伝える能力		
	1	学びに向かう力・人間性	困難や苦手なものに直面してもあきらめない能力		
チェック項目	どのくらいできているか	どちらかといえばできていない	どちらかといえば十分	不十分	備考 何でも気付いたことをご記入ください
グランドデザインを意識している	4	3	2	1	
生徒の実態・課題を意識している	4	3	2	1	
担当教科の重点目標を意識している	4	3	2	1	
身に付けさせたい知識・能力を意識している	4	3	2	1	
教科横断的な観点を意識している	4	3	2	1	
総合評価	4	3	2	1	

【資料9 教育目標実現のための取組表(国語科)】

学校教育目標 「知性を磨き、公正な判断力をもつ人」「自他を愛し、情熱豊かな社会的な人」「心身を鍛え、責任感と実行力のある人」			
自校の児童・生徒につけさせたい資質・能力			
「他者に対する配慮・思いやりの心」「まっすぐに取組む姿勢」「自ら考えて判断、行動する力」 「仲間と協力する姿勢」「困難を前にしても、くじけず、あきらめず、努力する生徒」			
教科で生徒に身に付けさせたい力	自ら考えて判断、行動する力		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
1年次の重点目標	情報を整理する能力	他者と意見を共有するコミュニケーション能力	読書を通じて新しい知識を得る
2年次の重点目標	情報と情報との関係を理解する	情報を取捨選択する能力	読書を通じて見識を広げる能力
3年次の重点目標	文章の論理展開を理解する能力	論理展開を考えて文章を書く能力	読書を通じて見識を深める能力
重要単元	1年:水の東西 2年:名所絵はがの東西 3年:ヒトはなぜヒトになったのか		
関連させる教科・単元	教科	単元	1年:日本の魅力発見 2年:日本文化 3年:生物の共通性と多様性

【資料10 カリキュラム・マネジメントを意識した授業実践用紙(国語の例)】

授業日	6月10日	担当教科	国語	授業者氏名	
担当教科の重点目標	自ら考えて判断し、行動する姿勢を身に付ける				
本日の単元	経験の教え方について				
本授業でもっとも見てもらいたい観点	優先順位(数字)	身に付けさせたい資質・能力			
	2	知識・技能	文章の論理展開を理解する能力		
	1	思考力・判断力・表現力	論理展開を考えて文書を書く能力		
	3	学びに向かう力・人間性	読書を通じて見識を深める能力		
チェック項目	どのくらいできているか	どちらかといえばできていない	どちらかといえば十分	不十分	備考 何でも気付いたことをご記入ください
グランドデザインを意識している	4	3	2	1	
生徒の実態・課題を意識している	4	3	2	1	
担当教科の重点目標を意識している	4	3	2	1	
身に付けさせたい知識・能力を意識している	4	3	2	1	
教科横断的な観点を意識している	4	3	2	1	

英語と国語の授業実践を通して得られたことは、見通しをもつこと、授業のねらいを明示することの大切さである。また、教科等横断を意識した授業の難しさ、教育目標をどのように授業に落とし込んでいくかについての難しさを感じ、それが今後の課題として残った。

### (3) 育成を目指す資質・能力の視点からの評価・改善の取組

学校の教育活動全体を通じた取組の評価と「教育目標（目指す生徒像）に近づいているかどうか」の評価

二つの評価に関して、当初は12月に行う計画であり、この時期を2年間の研究のまとめとしての位置付けと考えていた。そこで、上記の評価について、アンケート形式で教職員が回答した（資料11）。アンケートは12月23日の現職研修の最後に2年間の研究とPDCAサイクルを1年間回したことについての振り返りとして行った。

まず、PDCAサイクルのP（計画）として、本校グランドデザインの作成（質問1）について質問した。回答によると、どの項目も7～8割の教職員がグランドデザインの作成について前向きに評価しており、「目標の見える化」の意義を実感することができた。

次に、PDCAサイクルのD（実行）としてグランドデザインの実現に向けて「どの立場で」「どのくらい」努力できたか（質問2）を質問した。その結果、個人・教科・学校全体の立場では、約7割の教職員が前向きに努力できたと回答していた。一方で、分掌の立場では、他の項目に比べて努力できたと答える割合が若干低く、課題が残る結果となった。この原因として、グランドデザインが初めての作成であったことで、各分掌の取組に何を載せたらよいか十分検討できないまま、以前から進めている取組をそのまま載せた項目もあった。この点で、学校の重点目標との差異が生じたと思われる。

続いて、PDCAサイクルのC（評価）として、振り返りについて（質問3）質問した。その結果、個人・教科の立場としての回答と分掌・学年の立場としての回答との間に、大きな相違が見られた。それは、個人・教科としての立場では7～8割の教職員が意識的に振り返りできたと答えているのに対し、分掌・学年としての立場の方ではそれが約5割にとどまっており、今後の課題である。

最後に、「カリキュラム・マネジメントの在り方に関する研究」による教職員自身の変容について（質問4）質問した。回答は教職員によりばらつきはあったものの、授業改善や学校改善、本校の将来について考えるきっかけの項目について、7割以上の教職員が肯定的にとらえており、次年度以降の取組に十分期待できる。今後、それぞれの立場で建てる目標や取組について、グランドデザインを踏まえて決めていく必要性を強く感じた。

【資料11 職員カリキュラム・マネジメントアンケート】 添付資料7  
カリキュラム・マネジメントの在り方に関する研究についての職員アンケート

- 1 グランドデザインの作成
  - 1-1 作成によって、学校全体の課題がわかった。
  - 1-2 作成によって、学校の進むべき方向性が定まった。
  - 1-3 作成によって、分掌・学年・教科として何をすべきが明確になった。
- 2 グランドデザインの実現（教育目標や育成したい資質・能力、重点目標の実現）
  - 2-1 個人として教育目標や重点目標の実現に向け努力できた。
  - 2-2 教科として教育目標や重点目標の実現に向け努力できた。
  - 2-3 分掌として教育目標や重点目標の実現に向け努力できた。
  - 2-4 学年として教育目標や重点目標の実現に向け努力できた。
- 3 グランドデザイン（教育目標や育成したい資質・能力、重点目標）の振り返り
  - 3-1 個人として教育目標や重点目標を十分振り返ることができた。
  - 3-2 教科として教育目標や重点目標を十分振り返ることができた。
  - 3-3 分掌として教育目標や重点目標を十分振り返ることができた。
  - 3-4 学年として教育目標や重点目標を十分振り返ることができた。
- 4 「カリ・マネの在り方に関する研究」による学校・個人の変容
  - 4-1 本研究をきっかけに、カリ・マネに関心を持つようになった。
  - 4-2 本研究をきっかけに、授業改善により関心をもつようになった。
  - 4-3 本研究をきっかけに、今後の東浦高校のことを考えるようになった。
  - 4-4 本研究をきっかけに、学校改善に関心を持つようになった。
- 5 「カリ・マネの在り方に関する研究」の評価
  - A おおむね達成している B 次年度の取り組みが重要である
  - C ほとんど達成されていないので見直しが必要である
- 6 その他（改善提案）  
自由記述

(4) 授業研究, 評価データを基にしたカリキュラムの改善

① 生徒の評価に基づいたカリキュラム改善

教員の教育目標に対する取組がどれくらい生徒に伝わっているかを把握するために、6月13日に全校生徒に対して、「生徒カリキュラム・マネジメントアンケート」を実施した(資料12)。質問の内容は、グランドデザインに示されている「生徒に身に付けさせたい資質・能力」と、各学年で年度当初に立てた学年目標の達成度についてである。各項目について具体例を用い、①「当てはまる」②「どちらかという当てはまる」③「どちらかという当てはまらない」④「当てはまらない」の四段階を設定して、生徒が回答しやすいように作成した。

アンケートの結果について、生徒に身に付けさせたい資質・能力と各学年目標の達成度と分けて分析した。

ア 「生徒に身に付けさせたい資質・能力」について

まず、6月に実施したアンケート結果から分析したことをいくつか示す(資料13)。質問13「あなたは、苦手科目について、その克服に向けて努力することができる」では、全校生徒の17~21%しか「当てはまる」と回答した生徒がいなかった。また、質問14「あなたは、テスト等で努力の結果がでなくても、あきらめずに、努力を継続できる」でも、全学年生徒の23~26%しか「当てはまる」と回答していなかった。このことから、「困難を前にしてもくじけず、あきらめず、努力する生徒」という目標については、まだ課題が残っていることが分かった。

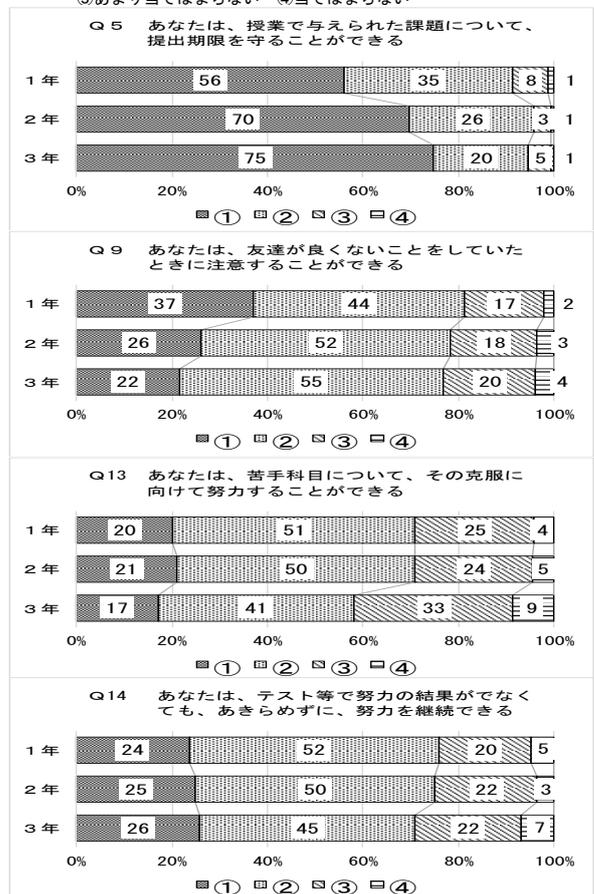
また、質問9「あなたは、友達がよくないことをしていたときに注意することができる」では、2, 3年生で22~26% (1年生は37%) しか「当てはまる」と回答しなかった。「自ら考えて判断, 行動する力」に関する項目では、おおむね「当てはまる」とされる割合が多い中で、質問9では、上級生ほど「当てはまる」と回答した割合が低くなっていた。このことから、「自ら考えて判

【資料12 生徒カリキュラム・マネジメントアンケート】

- 生徒カリキュラム・マネジメントアンケート
- 学校での授業や学校行事等についての以下の質問に
- ①「当てはまる」 ②「どちらかといえば当てはまる」  
 ③「どちらかといえば当てはまらない」 ④「当てはまらない」で答えなさい。
- A 「自校の児童・生徒に身に付けさせたい資質・能力」についての質問
- 1) 他者に対する配慮・思いやりの心
  - 2) あなたは、授業中に他の生徒が気分が悪くなったとき、心配してみずから声をかけることができる
  - 3) あなたは、放課中など友達と話しをするときに周囲に気を配ることができる
  - 4) あなたは、集会の時に自分から話しをやめることができる
  - 5) まっすぐに取組む姿勢
  - 6) あなたは、授業中に真剣に先生の話を聴くことができる
  - 7) あなたは、授業で与えられた課題について、提出期限を守ることができる
  - 8) あなたは、自分で「やる」と決めた事について継続的に取組むことができる
  - 9) 自ら考えて判断, 行動する力
  - 10) あなたは、毎朝自分で起きて学校に来ることができる
  - 11) あなたは、学校の規則について先生から言われなくても守ることができる
  - 12) あなたは、友達が良くないことをしていたときに注意することができる
  - 13) 仲間と協力する姿勢
  - 14) あなたは、授業中のペアワーク等で相手と協力して活動することができる
  - 15) あなたは、学校行事等でクラスの目標に向けて仲間と協力することができる
  - 16) あなたは、授業中に自分がわからないところか、相手がわからないところがあるとき、協力して解決することができる
  - 17) 困難を前にしても、くじけず、あきらめず、努力する生徒
  - 18) あなたは、苦手科目について、その克服に向けて努力することができる
  - 19) あなたは、テスト等で努力の結果がでなくても、あきらめずに、努力を継続できる
  - 20) あなたは、友人関係でつらいことがあっても、それを乗り越えることができる
- ★ 学年目標に対する質問
- ★ 1年生の生徒のみ答えてください
- 学年目標「周りから信頼される人間になる」
- a) あなたは自らルール、マナーを守ることができる
  - b) あなたは自ら挨拶をすることができる
  - c) あなたは皆勤に向けて努力することができる
  - d) あなたは人の約束を守ることができる
  - e) あなたは自分の行動に責任をもつことができる
- ★ 2年生の生徒のみ答えてください
- 学年目標「自分に自信をつける」(スローガン: 明るく・素直に・たくましく)
- a) あなたは自らルール、マナーを守ることができる
  - b) あなたは自ら挨拶をすることができる
  - c) あなたは皆勤に向けて努力することができる
  - d) あなたは人の話をしっかり聞くことができる
  - e) あなたは何事にも明るく前向きに取組むことができる
  - f) あなたは社会にでも通用する知力・体力・精神力を身につけるために努力をすることができる
- ★ 3年生の生徒のみ
- 学年目標「進路希望の実現と人間性の確立」
- a) あなたは自らルール、マナーを守ることができる
  - b) あなたは自ら挨拶をすることができる
  - c) あなたは皆勤に向けて努力することができる
  - d) あなたはそれぞれの希望する進路先で活躍するために、学力をつける努力ができる
  - e) あなたは自ら礼儀や言葉遣いを大切に、他者を尊敬することができる
- △協力ありがとうございます

【資料13 6月実施の生徒アンケート結果(抜粋)】

凡例 ①当てはまる ②どちらかという当てはまる  
 ③あまり当てはまらない ④当てはまらない



断、行動する力」については、家庭や学校での教育で徹底されてきたことは、生徒自身で判断して守ることができるが、一方、世間で大切な「善悪への対応」については、学校教育だけでは不十分なことが分かってきた。

他の質問については、おおむね「当てはまる」と回答した生徒が多く、特に「まっすぐに取り組む姿勢」に関する項目中の質問5「あなたは、授業で与えられた課題について、提出期限を守ることができる」では、上級生になるにつれて「当てはまる」と回答しており、学校全体での取組の成果を見ることができた。

続いて、12月に同じアンケートを再度行った。6月に実施したのと同じ項目について比べ、半年間での生徒の変容があるかどうか分析を行った（資料14）。質問13について「当てはまる」と答えた生徒は、6月の17～21%から18～27%へと、学校全体としては若干増加した。特に3年生は6月の17%から12月は27%へと大きく増加していることが分かった。質問14についても同様に「当てはまる」と答えた生徒は1年生が23.6%から22%に、2年生が25%から14%へと減少したのに対し、3年生は26%から33%に増加していることが分かった。3年生は、12月というアンケートをとったタイミングが自身の進路を決定する時期と重なり、目的意識や、目標に対する前向きな姿勢が他学年より強かったと考えられる。

また、質問9について6月に行ったときは、学年が上がるほど「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた生徒の割合が低下していた。しかし、12月においては依然として1、2年生が低下しているのに対して、3年生は上昇していることが分かった。6月は「善悪への対応」に課題が残っていることが分かったが、その後3年生においては卒業を前にして成長したと考えることができる。

質問5については、6月は上級生になるほど「当てはまる」と答えた生徒が多かったが、12月では、2、3年生については「当てはまらない」と答えた生徒が2年生で0.6%、3年生0%となり、ほとんど全ての生徒がこの項目について前向きに捉えていることが分かった。

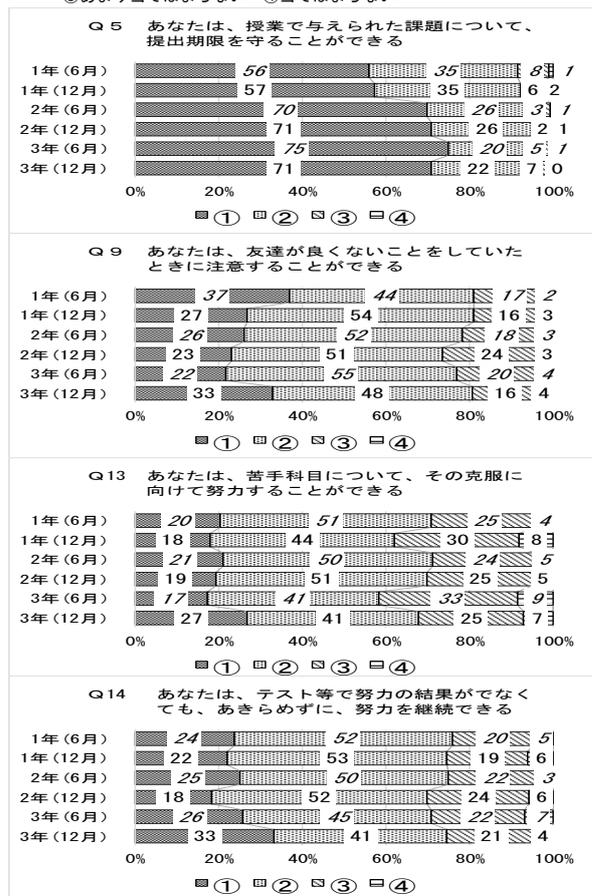
その他の質問についてはおおむね同様の傾向で、1、2年生においては「当てはまる」と答えた生徒が、6月に比べると減っているのに対し、3年生は上昇している項目が多かった。下級生に比べ、3年生は卒業を間近に控え、人格的にも成長が見られた。

#### イ 各学年目標の達成度について

学年目標は毎年、各学年で3年間を見通して立てている。今年度については、グランドデザインが完成する前に学年目標が立てられていたので、本校の重点目標と多少の差異があるものの、各学年で生徒に身に付けさせたい資質・能力について目標を定めている。

【資料14 6月、12月実施の生徒アンケート比較結果（抜粋）】 添付資料8

凡例 ①当てはまる ②どちらかという当てはまる  
③あまり当てはまらない ④当てはまらない





充実してきている。カリキュラム・マネジメントを授業に落とし込むことも含めて、以前より格段に教員の意識が高まったと言える。

## (2) 教育目標（目指す生徒像）の共有

以前は、多くの教員は学校独自の教育目標に従って教育活動を実践するというよりは、生徒の成長のために、学年や教科において独自の目標を定め、それぞれの立場で実践していた。従って、学校組織としてのPDCAサイクルはあまり機能していなかった。

今回、カリキュラム・マネジメントへの取組をきっかけにして、現職研修や職員会議等のさまざまな会議の中でアンケートや課題の検討を行い、独自のグランドデザインを全教職員が関わって作成することができた。このことで、各教員は、グランドデザインを見つめて、さまざまな課題の分析や検討、改善といった点で提案できるようになった。また、グランドデザインをホームルームにも掲示することで、生徒にも学校の教育目標について情報共有していく体制を整えることができた。

## (3) 重点目標の焦点化

グランドデザインに本校の重点目標を明示することで、本校の教育理念は明確になった。そこから、各教科でさまざまな重点目標の中でどんなことを優先的に取り組むのかを考えて、取り決めてもらった。このことで教科において取り組む内容が明確になり、教員間で共有され、授業での実践につなげることができた。

## (4) 教育目標（目指す生徒像）を意識した学習指導案の作成

「教育目標実現のための取組表」を各教科で作成し、これを基に「カリキュラム・マネジメントを意識した授業実践用紙」を授業担当者は作成し、6月の柴田教授による訪問指導のときに初めて授業実践をした。そこでの成果を受けて、11月の公開授業のときにも同様に授業実践を行った。

## (5) 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善

以前から、本校では公開授業のときに、「フィードバックシート」を活用してきた（資料16）。それとともに、「カリキュラム・マネジメントを意識した授業実践用紙」を加えて、公開授業を開催した。このことから、以前よりも教育目標を意識して授業の計画を立て、授業で実践することができた。

## (6) 授業研究、評価データを基にしたカリキュラム改善

本年度の実践の振り返りを12月に行った。今後は、学期ごとにPDCAサイクルを回して、授業やカリキュラムの改善につなげるきっかけとしていきたい。

## (7) 学校全体（組織運営、リソースの活用、働き方など）の改善

グランドデザインを作成したことにより、各分掌・学年・教科で取り組む内容が明確になり、取組の評価や改善を、より客観的に行うことができた。

### 【資料16 授業参観フィードバックシート】

#### フィードバックシート 記入者氏名 \_\_\_\_\_

参観した先生の名前	参観日	月	日
参観した先生の授業名	1・2・3年 組 科目名:		
参観して「いいな」と思った点 (最低2つお願ひします)	1. 2. 3.		
☆他者に対する配慮・思いやり ☆真・直ぐに取組む姿勢 ☆自ら考えて判断、行動する力 ☆仲間と協力する姿勢 ☆困難を前にしても、くじけず、あきらめず、努力する	授業の中心的活動(Oをつけてください): 知識・技能 思考・判断・表現力 学びに向かう人間性 改善のアイデア・方法等(励ましてかまいません)		
上記目標を達成するために、参観者が勉強になったことや、「こうしたらもっといい」というアイデア等を右にご記入ください。			

打合せ黒板下の教務BOXに入れて下さい!

## 6 まとめ

今回の研究に参加させていただき、さまざまな討議を校内外で行うことができた。その結果、校内での現職研修を定期的に行うことができ、今後の本校の目指す方向が明確になった。また、今まで分かりにくかった他教科・他学年の教員の考えについても、さまざまな研修や討議を重ねることで理解することができ、教員間のコミュニケーションが活性化してきた。さらに、学校独自のグランドデザインを作成することで、学校全体または各分掌・学年・教科で取り組む内容が明確になり、教育活動のベクトルが定まるきっかけとなった。

一方、取り組んでまだ2年目ということもあり、各教員にカリキュラム・マネジメントの意識を自発的にもたせることは難しい。今回の研究をきっかけにして、学校全体で意図的、計画的、継続的にカリキュラム・マネジメントに取り組む、更なる学校の活性化につなげていきたい。

# 【添付資料 1】

## 東浦高校のグランドデザインと課題についてのアンケート

令和元年10月21日  
(令和元年10月4日実施)

名前 ( )

### 【本校の教育目標】

- ・知性をみがき、公正な判断力をもつ人
- ・自他を愛し、情報豊かな社会性のある人
- ・心身を鍛え、責任感と実行力のある人

質問 1 本校の「育成したい資質・能力」と「学校重点目標」についてどれくらい実現されているか、それぞれの項目について以下から最も適するものを選び番号で答えてください

- 4 期待以上の成果が出つつある      3 おおむね予定通り成果が出つつある  
2 あまり成果が出ていない          1 ほとんど成果が出ていない

### A【育成したい資質・能力】

番号	項目	3.25~	2.5~	1.75~	~1.75
1	他者に対する配慮・思いやりの心	平均	2.7		
		人数	1	24	10
2	真っ直ぐに取組む姿勢	平均	2.8		
		人数	2	24	12
3	自ら考えて判断、行動する能力	平均	2.2		
		人数	1	7	27
4	仲間と協力する姿勢	平均	2.8		
		人数	4	24	9
5	困難を前にしても、くじけず、あきらめず、努力する生徒	平均	2.4		
		人数	1	13	20

### B【学校重点目標】

番号	項目	3.25~	2.5~	1.75~	~1.75
1	授業を第一に考えて学習に取組み、将来の夢の実現に真摯に取り組む生徒を育てるとともに、多様な生徒の進路目標を支援できる体制の充実を図る	平均	2.8		
		人数	2	26	8
2	授業の大切さ・意識を生徒自ら理解させることで、授業規律を向上させるとともに、授業内容を点検し、精査し、授業改善に取り組む	平均	2.8		
		人数	1	27	9
3	生徒の将来を考えた身だしなみ指導、マナー指導を行う。指導にあたっては指導の意義や指導基準を理解させ、クラス、学年等を越えて全校体制で実施する	平均	2.7		
		人数	3	20	15
4	「いじめのない学校」を実現する	平均	2.8		
		人数	1	28	8
5	学校行事、部活動等に自主的、積極的に取り組む生徒を育てる	平均	2.7		
		人数	1	12	21
6	学校行事や業務内容を点検・精査、精選し、教育環境を充実させるとともに、教職員の多忙化を改善する	平均	2.7		
		人数	0	10	18
7	PTAとの連携、同窓会との連携を大切にするとともに、地域社会との協働に取り組む	平均	2.8		
		人数	2	26	8

質問 2 以下の項目について、「評価」欄に4段階で当てはまるものに○を記入してください

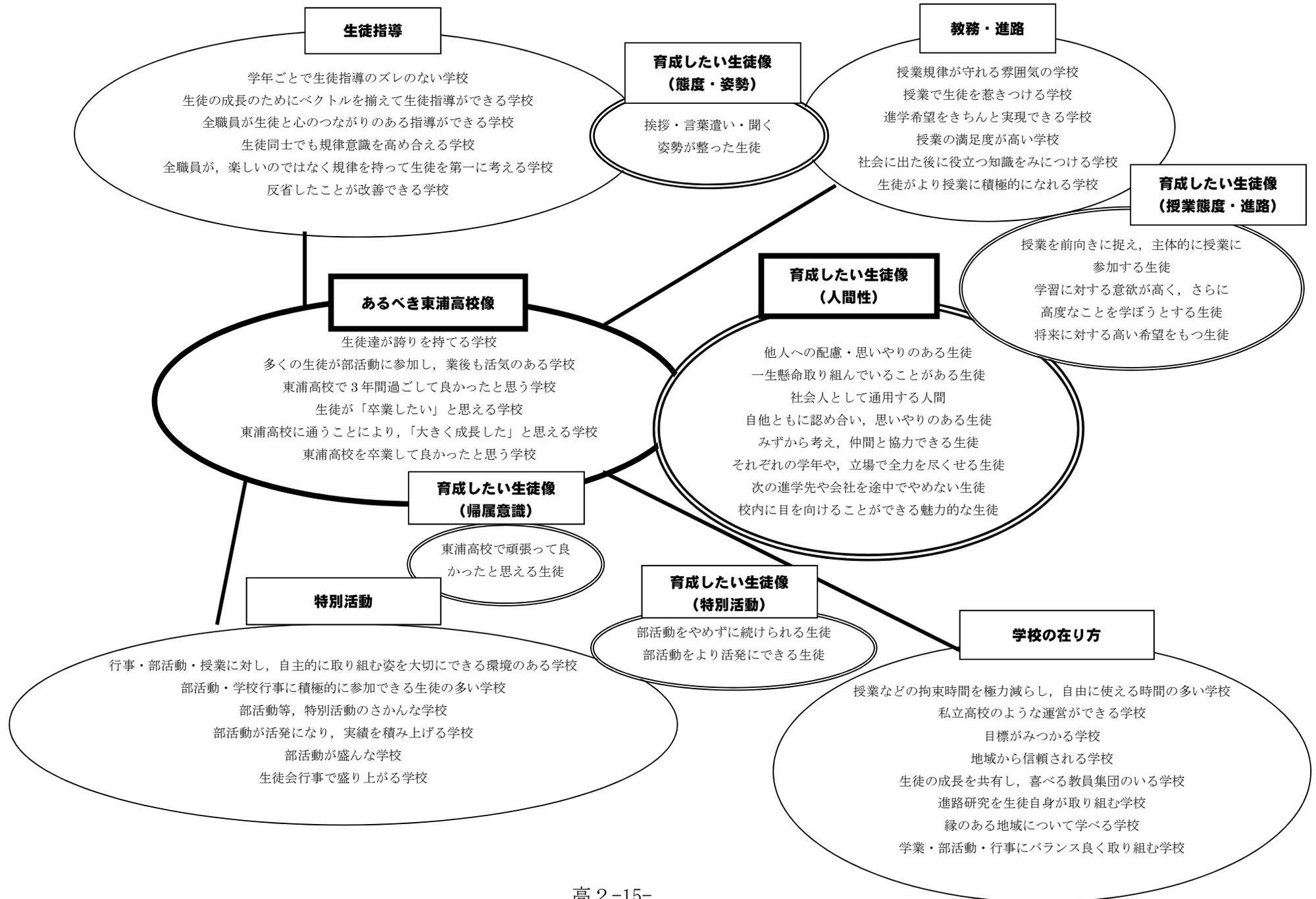
### C【本校の課題】

要素	項目	評価			
		4	3	2	1
		3.25~	2.5~	1.75~	~1.75
教務関係の課題	1 現在の少人数展開を維持すべきだと思う	平均	3.51		
		人数	21	11	4
	2 授業時数の確保をしっかりとすべきだと思う	平均	2.71		
		人数	7	16	8
	3 特別進学クラスの在り方を検討すべきだと思う	平均	3.61		
		人数	25	9	1
	4 生徒に家庭学習の時間を十分に確保させるべきだと思う	平均	3.31		
		人数	14	18	2
	5 定期考査問題の難易度を上げるべきだと思う	平均	2.6→		
人数		4	17	12	3
6 学習に対する意欲、理解力をもっと高めるべきだと思う	平均	3.31			
	人数	15	19	1	1
7 成績上位の生徒の満足度をより向上させるべきだと思う	平均	3.41			
	人数	19	12	1	2
8 各種の現職研修に力を入れるべきだと思う	平均	2.61			
	人数	5	13	12	4
9 学習指導にもっと力を入れるべきだと思う	平均	2.91			
	人数	8	21	4	3
生徒指導関係の課題	10 身だしなみ指導のやり方を維持すべきだと思う	平均	3.11		
		人数	12	18	5
	11 時代の変化に合わせて生徒指導の基準を変えるべきだと思う	平均	2.91		
		人数	9	16	10
	12 生徒指導における学年間の連携やコミュニケーションを強化すべきだと思う	平均	3.31		
		人数	16	17	2
13 アルバイトは現在より規制をかけるべきだと思う	平均	3.4→			
	人数	20	12	4	0
14 生徒指導にもっと力を入れるべきだと思う	平均	2.8→			
	人数	4	23	8	1

要素	項目	評価			
		4	3	2	1
		3.41	2.51	2.31	2.1
進路指導関係の課題	15 進学にも就職にもどちらにも対応できる学校をめざすべきだと思う	平均	3.41		
		人数	19	14	1
	16 特進クラスは進学に特化すべきだと思う	平均	3.51		
		人数	23	8	4
	17 補習にもっと多くの生徒を受講させるべきだと思う	平均	2.51		
人数		5	10	15	4
18 模試にもっと多くの生徒を受験させるべきだと思う	平均	2.61			
	人数	7	10	13	4
19 進路指導にもっと力を入れるべきだと思う	平均	3.11			
	人数	11	19	5	1
総務関係の課題	20 総務（PTA関係）の活動にもっと力を入れるべきだと思う	平均		2.31	
人数	2	11	16	6	
保健厚生関係の課題	21 保健厚生活動にもっと力を入れるべきだと思う	平均	2.51		
人数	3	15	13	4	
特別活動関係の課題	22 特別活動の活動にもっと力を入れるべきだと思う	平均		2.31	
		人数	2	13	15
	23 部活動をもっと活性化させるべきだと思う	平均	3.21		
人数	15	15	5	1	
地域連携等の課題	24 外部（中学校等）ともっと連携すべきだと思う	平均	2.71		
		人数	3	22	8
	25 外部（一般行政等）ともっと連携すべきだと思う	平均	2.51		
人数	1	19	13	3	
26 外部（県教委等）ともっと連携すべきだと思う	平均	2.2→			
	人数	0	15	14	7

要素	項目	評価			
		4	3	2	1
		2.1	2.91 <th>2.8→ <th>2.21 </th></th>	2.8→ <th>2.21 </th>	2.21
生徒の現状に対する認識	27 生徒の学力はここ数年で向上している	平均		2.1	
		人数	2	7	14
	28 生徒は挨拶ができています	平均	2.91		
		人数	6	22	5
29 学校が楽しいと思う生徒が多い	平均	2.8→			
	人数	4	23	7	2
30 生徒が主体的に考えて活動できる機会が多い	平均	2.21			
	人数	1	9	21	5
先生方の現状に対する認識	31 学年は機能している	平均	3.21		
		人数	11	23	0
	32 分掌は機能している	平均	3.11		
		人数	10	20	4
	33 教員間の意思疎通はできています	平均	3.11		
		人数	8	26	1
34 学校の業務は組織的に機能している	平均	2.8→			
	人数	5	20	9	2
35 学年間の連携はよくとれている	平均	2.51			
	人数	3	14	15	3

# 東浦高校創立 50 周年に向けて



東浦高校の生徒に身に付けさせたい資質・能力【各教科】

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の論理展開（情報と情報との関係）を理解できる能力</li> <li>情報を整理する能力</li> <li>古典などを通して日本や中国の文化の特質を理解する。また地理的・歴史的な関係に興味を持つ。</li> <li>言語文化に対する知識・能力</li> </ul> <p>【地歴・公民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知っていることを結びつけて物事を記憶する能力</li> </ul> <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計算する能力</li> <li>統計的に処理する能力</li> </ul> <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計算能力</li> </ul> <p>【保健体育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理能力</li> <li>体力</li> </ul> <p>【芸術】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芸術を愛好する能力</li> <li>音楽の三要素を理解し、役割を意識して演奏する能力</li> <li>諸国の芸術に触れ、日本の芸術との違いを理解する能力</li> </ul> <p>【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語を使って簡単なやり取りができる能力</li> <li>基本的な英語の知識・能力</li> </ul> <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の立場を理解し、正しく行動できる能力</li> <li>男女が協力して学習することができる能力</li> </ul> <p>【情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報活用能力</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な情報を収集し、取捨選択、整理する能力</li> <li>情報処理能力</li> <li>自分の伝えたい内容を分かりやすく表現したり、相手の話す内容を聞き、理解する（共有する）<b>コミュニケーション能力</b></li> <li>語彙力を高め、周りの人に気遣いながら自分の気持ちを表現する能力</li> </ul> <p>【地歴・公民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人の気持ちを考える能力</li> <li>ある事象から起こりえる事を推察する能力</li> <li>過去から学び現在・未来へと活かす能力</li> </ul> <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他人に自分の考えを伝える能力</li> <li>他人の考えを受け入れる能力</li> </ul> <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>論理的に考える能力</li> <li>自分の考えを伝える能力</li> </ul> <p>【保健体育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>コミュニケーション能力</b></li> <li>自己肯定感</li> </ul> <p>【芸術】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品の仕上がりを意識し、工夫する能力</li> <li>他の作品（演奏）から良さを見つける能力</li> </ul> <p>【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>人の意見を聞き自分の意見を伝える能力</b></li> <li>暗記ではなく、知識と知識を結びつけ、身につける能力</li> </ul> <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康や栄養に配慮して生活する能力</li> </ul> <p>【情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決能力</li> <li>論理的思考力</li> <li><b>コミュニケーション能力</b></li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書を通じて新しい知識を得たり、見識を広め、深める能力</li> </ul> <p>【地歴・公民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会について関心を持ち、知ろうとする</li> </ul> <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しいことを学ぼうとする能力</li> </ul> <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>自ら考える能力</b></li> <li>物事に興味を持つ能力</li> </ul> <p>【保健体育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーシップ能力</li> </ul> <p>【芸術】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芸術の活動に自信を持って取り組む能力</li> <li>他者を意識し、美しさを求める能力</li> <li>楽器・道具を大切にし、管理する能力</li> </ul> <p>【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己肯定感</li> <li>異質な物や変化に対応する能力</li> <li>困難や苦手に直面してもあきらめない能力</li> <li><b>自主的に学ぶ能力</b></li> </ul> <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他の世代や地域の人々のことを思いやる能力</li> <li>自分のライフスタイルをデザインすることができる能力</li> </ul> <p>【情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>主体的行動力</b></li> <li>チームワーク力</li> </ul>

※白抜きは他の教科・項目と共通する項目

## 東浦高校の生徒に身に付けさせたい資質・能力【各分掌・学年】

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
<p>【教務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習をする能力</li> </ul> <p>【進路指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の基礎的・基本的な知識・技能</li> <li>・進路を実現するために必要な学力</li> </ul> <p>【特別活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動に積極的に参加する力</li> </ul> <p>【3 学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを正しく漢字を用いて表現できる語彙に関する能力</li> <li>・外来語が理解できる程度の英単語に関する能力</li> </ul>	<p>【進路指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を論理的に考える力</li> </ul> <p>【保健厚生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己管理能力</li> <li>・自分の意見を伝える力</li> <li>・コミュニケーション能力</li> <li>・礼儀正しく振る舞える能力</li> </ul> <p>【特別活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会行事に全力をつくす力</li> <li>・何事にも主体的に取り組む力</li> <li>・何事にも強調・協力する意識を持つ</li> </ul> <p>【3 学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の学力を自ら分析し、対策を立て補強できる力</li> </ul>	<p>【総務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の母校として東浦高校に誇りを持つ能力</li> <li>・提出物を期限内に着実に出せる能力</li> <li>・家庭に学校からの連絡を着実に知らせ、家庭と学校のコミュニケーションを円滑にする能力</li> <li>・知多と東浦の地に密着し、愛郷心や郷土愛を持つ能力</li> <li>・卒業後、地域の担い手として社会で活躍できる能力</li> <li>・学校行事に積極的に参加し、愛校心を育む能力</li> <li>・コミュニケーション能力を高めて、人間関係をスムーズにする能力</li> <li>・50 周年に向けて、同窓生としての自覚を持つ能力</li> </ul> <p>【教務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を大切にできる能力</li> <li>・学校生活を肯定的に捉えることができる能力</li> <li>・基本的生活習慣を身につける能力</li> <li>・本来（標準的）の高校生の姿を理解し、自発的な行動に移せる能力</li> </ul> <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守る力・自ら進んで協力できる力</li> <li>・社会規範（社会常識）を身につける力</li> <li>・社会性をお互いに高め合える力・自立できる力</li> </ul> <p>【進路指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び続ける力・家庭で学習する力</li> </ul> <p>【保健厚生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を大切にできる力</li> </ul> <p>【特別活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動に積極的に参加する力</li> </ul> <p>【1 学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素直な心・授業を大切にできる力・部活動に参加する力</li> <li>・信頼関係を構築する力・ルール・マナーを守れる力</li> </ul> <p>【2 学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我慢する力・礼儀正しく生きる力・社会に役立つ力・人を思いやる力</li> <li>・自己肯定感・言葉遣い</li> </ul> <p>【3 学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 回、1 週間、月間を単位に自分の学校生活のスケジュールを管理する能力</li> <li>・自分の進路設計をまとめ説明できる能力</li> </ul>

# 2019 東浦高等学校 グランドデザイン

校訓：すぐれて・ゆたかに・たくましく

## 学校教育目標

- ◇ 知性をみがき、公正な判断力をもつ人
- ◇ 自他を愛し、情操豊かな社会性のある人
- ◇ 心身を鍛え、責任感と実行力のある人

## 育成したい資質・能力

- ◇ 他者に対する配慮・思いやりの心
- ◇ 真っ直ぐに取組む姿勢
- ◇ 自ら考えて判断、行動する力
- ◇ 仲間と協力する姿勢
- ◇ 困難を前にしても、くじけず、あきらめず、努力する生徒

## 【東浦高校の強みとよさ】

<b>子ども</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 落ち着きがあり、学校生活を前向きに捉える生徒が増えてきた</li> <li>◇ 学校行事や、部活動に積極的に参加するようになってきた</li> </ul>
<b>学校</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 充実した少人数制指導を行っている</li> <li>◇ 生徒の進路希望に応じた教育を行っている</li> </ul>
<b>保護者・地域</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 保護者の学校行事への参加が増えてきた</li> <li>◇ 地元住民の本校に対するイメージが好転した</li> </ul>

## 【東浦高校の弱みと課題】

<b>子ども</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 個別指導が必要な生徒が一定数いる</li> <li>◇ 自己肯定感の醸成に課題がある</li> </ul>
<b>学校</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 特進類型の特色を生かし切れていない</li> <li>◇ 教育目標・重点目標を意識した教育活動が不十分である</li> </ul>
<b>保護者・地域</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 家庭の経済状況を踏まえた指導が必要</li> <li>◇ 様々な家庭や文化的背景を踏まえた教育活動が必要</li> </ul>

## 学校重点目標

**生徒の成長を第一に考える学校づくりを推進する**  
 ～生徒が良い表情で、誇りをもって登下校し、大きく成長できる学校を目指す～

～厳しいなかにも愛情のこもった指導を粘り強く

おこなう～

- ◇ 授業を第一に考えて学習に取組み、将来の夢の実現に真摯に取り組む生徒を育てるとともに、多様な生徒の進路目標を支援できる体制の充実を図る
- ◇ 授業の大切さ・意義を生徒自ら理解させることで、授業規律を向上させるとともに、授業内容を点検、精査し、授業改善に取り組む
- ◇ 生徒の将来を考えた身だしなみ指導、マナー指導を行う。指導にあたっては指導の意義や指導基準を理解させ、クラス、学年等を越えて全校体制で実施する
- ◇ 「いじめのない学校」を実現する
- ◇ 学校行事、部活動等に自主的、積極的に取組む生徒を育てる
- ◇ 学校行事や業務内容を点検・精査、精選し、教育環境を充実させるとともに、教職員の多忙化を改善する
- ◇ PTAとの連携、同窓会との連携を大切にするとともに、地域社会との協働に取り組む

## 【地域の評価・要望】

### 学校評議員の学校評価

- ◇ 生徒は落ち着いているので、50周年に向けて、これから何を指すかを定める必要がある
- ◇ 保護者・中学校・地域は卒業後の進路をみている、それを意識して教育活動をして欲しい
- ◇ 地元の小・中・高の協力体制をつくる必要がある
- ◇ ボランティア、若者会議等地域の行事への参加・協力はありがたい
- ◇ 生徒が主体的に活動する行事をさらに進めて欲しい
- ◇ 生徒指導は組織的に行うことが必要

## 【学校全体の取り組み】

### 確かな学力の育成のために

- ◇ 教育目標を踏まえた年間指導計画を作成する
- ◇ 各教科で、生徒に身につけさせたい力を定め、目標を策定する
- ◇ 生徒の実態を踏まえた少人数制授業を展開する
- ◇ 公開授業等を通じて先生方の授業の取組を互いに点検し、教科会等で改善に取り組む
- ◇ 学びの基礎診断テストの実施を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」を踏まえた授業改善に取り組む
- ◇ 総合的な探究の時間を活用し、教科横断型の探究活動に取り組む

## 【学習指導・生徒指導】

### 指導方法・指導体制の工夫

#### 【生徒指導】

- ◇ 身だしなみ指導や、マナー指導について職員全体による指導体制を継続する
- ◇ 「いじめのない学校」を目指すために、講話や定期的な個人面談、アンケート等を通じて、予防・把握と適切な対応をする

#### 【学習指導】

- ◇ 適切なキャリア教育を通じて、生徒個人に応じた進路指導を行う
- ◇ インターンシップを充実させることにより、進路意識を高める
- ◇ 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の研究と実践をすすめる

## 【地域連携】

### 保護者・地域との連携

- ◇ 保護者の学校行事への参加を促進する
  - ・ 体育祭で保護者の参加を継続
  - ・ 文化祭で保護者参加のバザー継続
  - ・ 公開授業参観の促進
- ◇ 保護者と教員との交流を継続する
- ◇ 生徒による、地元行事のボランティア活動への参加を促進する
- ◇ インターンシップに参加することを通じて、地域企業との連携を継続する
- ◇ 東浦高校創立 50周年を踏まえ、同窓会との連携を今までより一層強める
- ◇ 外部の講師による講話等を通じて、地域連携の意識を高める

		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
国語総合	現代文	世界は謎に満ちている(手塚治虫)	世界は謎に満ちている(手塚治虫) 羅生門(芥川龍之介) 三文にて歯二つ	羅生門(芥川龍之介)	羅生門(芥川龍之介)	水の東西(山崎正和)	水の東西(山崎正和) とんかつ(三浦哲郎)	とんかつ(三浦哲郎)	短歌 与謝野晶子・石川啄木・若山牧水・斎藤茂吉まで	日本語万華鏡(鈴木孝夫)	日本語万華鏡(鈴木孝夫)	俳句
	古典	児のそら寝 古典文法「動詞」	竹取物語 古典文法「動詞」	竹取物語 古典文法「動詞」	古典文法「形容詞・形容動詞」	徒然草 古典文法「助動詞(過去・完了・打消)」	徒然草 古典文法「助動詞(過去・完了・打消)」 連文の基礎	徒然草 「蛇足」「鶏口牛後」		伊勢物語「東下り」 古典文法「助動詞」	伊勢物語「東下り」 古典文法「助動詞」	伊勢物語「東下り」 古典文法「助動詞」
公民 現代社会	環境問題	資源エネルギー問題 人口問題	生命化学 情報技術	青年期の課題 自分らしく生きる	現代国家と民主政治	現代国家と民主政治	現代国家と民主政治	日本国憲法 日本の政治機構	市民の政治参加 基本的人権	現代の経済社会	日本経済の特質	国民生活について
数学 数学Ⅰ・A	式の計算 場合の数	式の計算 実数 場合の数	1次不等式 集合と命題 確率	集合と命題 確率	2次関数 確率 平面図形	2次関数の値の変化 平面図形	2次方程式と2次不等式 平面図形	図形と計量 空間図形	三角形への応用 約数と倍数	データの分析 ユークリッド互除法	データの分析 整数の性質の活用	
理科 化学基礎	科学と人間生活	単体・化合物・混合物	物質の三態	物質の構成	電子配置と周期表	化学反応式 様々な結合	化学反応式と量的 関係 物質質量	化学反応式 酸塩基	中和 酸化と還元			
総合	野外活動	進路適性検査から 進路講話に向けて	類型仮登録:生徒・保護者との話し合い 文化祭に向けて	文化祭準備 進路希望調査 大学見学会に向けて 基礎力診断テスト 受検 結果を基に個人面談	大学見学会に向けて 調べ学習 大学見学会と振り返り	進路講話と振り返り 類型本登録	福祉実践教室に向けて 福祉実践教室と振り返り	進路希望調査 進路希望別学習 大学・専門はオープンキャンパス参加に向けて 就職はインターンシップに向けて 基礎力診断テスト受検 結果を基に個人面談				
体育	集団行動 体づくり運動	球技① 男子・ソフトボール 女子・バレーボール ・バスケットボール ・卓球	陸上 ・100M ・三段跳び ・砲丸投げ	球技② 男子・バレーボール 女子・バスケットボール ・サッカー ・ソフトボール	球技③ 男子・ハンドボール 女子・バドミントン ・サッカー ・テニス							まとめ
芸術 音楽Ⅰ	オリエンテーション 歌唱 ・「校歌」「手紙」	リコーダー音階 ・「喜びの歌」・歌唱「夏は来ぬ」 合唱「手紙」	音楽・リコーダー 「これはなんと素晴らしい音」 ・歌唱「Caro mio ben」	音楽・リコーダー「アメージング・グレース」 ・合唱「道」	音楽・日本文化と芸術	音楽・リコーダーアンサンブル「見あげてごらん夜の星を」 ・合唱「Can you celebrate?」「3月9日」 ・コードについて(ベース)						
芸術 美術Ⅰ	オリエンテーション	鉛筆デッサン(幾何学形態)	色彩構成	デッサン(スリッパ)	コラージュ	ソーマトロープ・食品サンプル						
英語 Ⅰ英語Ⅰ	Kerama Blue 沖縄文化:珊瑚保全	Cool Japan 日本の魅力発見	Mexican Dishes メキシコ食文化	The Olympics 近代五輪・パラ五輪	Baobabus in Madagascar バオバブの保全・環境問題	Toothbrushing in Edo 江戸時代の生活習慣	Machu Pichu マチュ・ピチュの文化	Motala and Landmines タイの国内事情	Dick Bruna ディック・ブルーナの社会的役割	Tsuji, the Great Pianist 辻井伸行について		
英語 英語表現Ⅰ	品詞・語順 現在形:be動詞/一般動詞	過去形:be動詞/一般動詞	未来表現:will/be going to- 現在完了形	現在完了形 助動詞	助動詞 不定詞	不定詞 動名詞	受動態 分詞	関係代名詞	関係代名詞 関係副詞	比較 知覚動詞/使役動詞	仮定法過去	
家庭科 家庭基礎	青年期の自立と家族・家庭	生涯の生活設計	子どもの発達と保育	ホームプロジェクト と学校家庭クラブ活動	高齢期の生活	共生社会と福祉	生活の自立及び消費と環境	ライフスタイルと環境	食事と健康	栄養と食事	食品と調理	
情報 社会と情報	1章 1節 情報社会 2節 情報とメディア 文字打ちの練習, Wordの基本操作, 文書作成	1章 3節 情報モラルと社会のルール 2章 1節 情報機器とデジタル 文字打ちの練習, Power Pointの基本操作, 個人作品作成	2章 2節 デジタル表現 プレゼンテーション(個人作品の発表)									

2019年度 2年生 単元配列表

087愛知県立東浦高等学校

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
<b>国語 現代文 B</b>	「私」という「自分」(鷗沢萌) 古本説話集「平中が事」	わたしはあなただったかも知れない(大脇三千代) 情けは人の(俄万智)	情けは人の(俄万智) 「マジ？」(高山宗東)	永訣の朝(宮沢賢治)	新しい地球観(毛利衛)	山月記(中島敦)	山月記(中島敦)	俳句	名所絵はがきの東西(高階秀爾)	名所絵はがきの東西(高階秀爾)	話を聞かせて(山本文緒)
<b>国語 古典 B</b>	古本説話集「平中が事」 古典文法「助動詞めり・なり」	古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」 月の異名 竹取物語	竹取物語 「かぐや姫の昇天」	十二支 古典文法「敬語」	伊勢物語 「初冠」「関守」	列氏「朝三暮四」 漢詩「絶句」	漢詩「峨眉山月歌」 「臨洞庭」 四字熟語	土佐日記「門出」 更級日記「門出」	更級日記「源氏の五十余巻」	更級日記「源氏の五十余巻」	慣用句・故事成語
<b>地歴 日本史 B</b>	文化の始まり 農耕社会の成立	古墳とヤマト政権 飛鳥の朝廷	律令国家の成立 平城京の時代	天平文化 平安朝廷の形成	摂関政治 国風文化	荘園と武士 院政と平氏の台頭	鎌倉幕府の成立 武士の社会	蒙古襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	室町幕府の成立	幕府の衰退と庶民の台頭	室町文化
<b>地歴 世界史 B</b>	古代オリエント世界	ギリシア世界	ローマ世界	インドの古典文明 東南亜細亜の諸文明	中国の古典文明 南北アメリカ文明	草原の遊牧民とオアシスの定住民 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成	イスラーム世界の形成 イスラーム世界の発展	インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 イスラーム文明の発展	西ヨーロッパ世界の成立 東ヨーロッパ世界の成立 西ヨーロッパ中世世界の変容 西ヨーロッパの中世文化	トルコ化とイスラーム化の親展 東アジア諸地域の自立化 モンゴルの大帝国	東アジア世界の動向 清代の中国と隣接諸地域
<b>数学 数学 II</b>	式と計算 等式・不等式の証明	複素数と2次方程式の解 高次方程式	点と直線 円	軌跡と領域	三角関数	三角関数	指数関数 対数関数	微分係数と導関数	関数の値の変化	積分法	積分法
<b>理科 生物基礎</b>	生物の共通性と多様性 細胞とエネルギー	遺伝情報とDNA 遺伝情報と分配	遺伝情報とタンパク質の合成	遺伝情報とタンパク質の合成	生物の体内環境	体内環境の維持の仕組み	免疫	免疫	植物の多様性と分布	植生と遷移	気候とバイオーム
<b>総合</b>	遠足 進路希望調査を踏まえた個人面談	インターンシップに向けた準備 修学旅行に向けて①② ・ガイダンス ・地歴を踏まえた沖縄学習 (沖縄の歴史・地理・気候・文化等)	修学旅行に向けて③ ・国語を踏まえた沖縄学習 (沖縄の方言・言語の変遷等)	進路希望調査 基礎力診断テスト 結果を基に個人面談 修学旅行に向けて④ ・理科を踏まえた沖縄学習 (沖縄の生物等)	修学旅行に向けて⑤⑥ ・家庭科を踏まえた沖縄学習 沖縄の料理・調理法等 ・芸術を踏まえた沖縄学習 (沖縄の音楽等)	修学旅行振り返り ・クラス内発表 進路講話 進路講話を踏まえた振り返り 進路別学習	進路別学習 大学:希望の明確化と学習 専門学校:希望の明確化とオープンキャンパス参加 就職:就職者指導				
<b>体育</b>	集団行動 体づくり運動	球技① 男子・ソフトボール 女子・バレーボール	陸上 ・100M ・三段跳び ・砲丸投げ	球技② 男子・バレーボール 女子・バスケ ・テニス	球技③ 男子・ハンドボール 女子・バドミントン ・サッカー	まとめ					
<b>芸術 音楽 I</b>	合唱「翼をください」 コードについて(ベース)	キーボード「バタフライ」「あなたに」「キセキ」	ギターメロディー弾き「大きな古時計」	音楽・ギターメロディー弾き「前前前世」 合唱「海の声」	ギターまたはキーボード選択「チェリー」「Lemon」 合唱「Can you celebrate?」 コードネームについて(3和音)						
<b>芸術 美術 I</b>	ペン画デッサン	点描画	フェナキストスコープ	飛び出す絵本	新聞工作・モザイクブロック						
<b>英語 コミ英語 II</b>	World Breakfast 世界の朝食について	The Emerald Isle アイルランドの言語・文化	Sakana-kun 日本文化	Nobel Prize Episodes ノーベル賞について	Flowers in the Tomb 考古学について	Unique Countries 世界地理について	The Galapagos Islands 環境問題について	Shodo, Old and New 日本の伝統文化について	Water World 水族館に歴史・役割	A Long Friendship 国際協調について	
<b>英語 英語表現 II</b>	日常生活・学校生活についての表現	音楽・芸術・買い物の留意点についての表現	科学技術の発展についての意見表明 尊敬する人物についての表現	自分の好きな科目についての表現	将来の職業に就いての表現、与えられたテーマに対しての意見表明の表現	与えられたテーマに対しての意見表明の表現	旅行の思い出についての表現	環境問題についての意見表明の表現、歴史を学ぶことの大切さについての意見表明の表現	平和な世界の実現に対する意見表明の表現	科学技術の発展にたいする意見表明の表現、将来の自分の目標の表現	情報通信技術の発展の利点と欠点について自分の意見表明の表現、自分が社会のためにしたいことについての表現
<b>家庭 総合家庭</b>	人は何故服を着るのか	衣服の成り立ちと性質	衣服はどのように管理するか	リバーシブルトートバックの制作	栄養素のはたらきと食事計画	生活様式とテーブルコーディネート 西洋料理・中国料理	生活様式とテーブルコーディネート その他の食事マナー	年中行事とマナー	食文化の創造	総合学習としてのマナーと献立作成・実習	
<b>情報 情報産業と社会</b>	第1章 情報化と社会 1 社会の情報化 2 情報産業の進展と役割 第2章 情報産業と情報モラル 1 情報技術者の義務と責任				第2章 情報産業と情報モラル 2 情報モラルと情報セキュリティ ビジネス文書実務検定試験 筆記内容				第2章 情報産業と情報モラル 3 情報産業と法規 第3章 情報産業と情報技術 1 情報技術の基礎		
<b>情報 システム実習</b>	ビジネス文書実務検定試験対策 速度部門、ビジネス文書部門、筆記部門							エクセル基本操作(関数、グラフ等) プレゼンテーション課題作成/発表			
<b>情報 コンテンツ実習</b>	ビジネス文書実務検定試験対策 速度部門、ビジネス文書部門、筆記部門							エクセル基本操作(関数、グラフ等) プレゼンテーション課題作成/発表			

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	
<b>国語 現代文 B</b>	話を聞かせて(山本文緒)	記憶のゆがみ(高橋雅延) 経験の教えについて(森本哲郎)	新しい博物館を(池内了)	こころ(萩原朔太郎) 日本海(草野心平)	コミュニケーションの文化(平田オリザ)	ヒトはなぜヒトになったか(長谷川真理子)	こころ(夏目漱石)	こころ(夏目漱石)	こころ(夏目漱石)	こころ(夏目漱石)	
<b>国語 古典 B</b>	宇治拾遺物語「亀を買ひて放つ事」	大和物語「楨捨山」 大鏡「三舟の才」	大鏡「弓争ひ」	枕草子「中納言参り給ひて」	枕草子「すさまじきもの」	十八史略「背水之陣」	史記「四面楚歌」	源氏物語(桐壺)	源氏物語(若紫)	源氏物語(若紫)	
<b>地歴 日本史 B</b>	織豊政権・桃山文化	幕政の安定 経済の発展	幕政の改革	宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代への道	開国と幕末の動乱	明治維新と富国強兵・立憲国家の成立と日清戦争・日露戦争と国際関係 近代産業の発展	近代文化の発達・第一次世界大戦	市民生活の変容と大衆文化・恐慌の時代・軍部の台頭・第二次世界大戦	占領と改革・冷戦の開始と講和・55年体制・経済復興から高度成長へ	経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の動揺	
<b>地歴 世界史 B</b>	ヨーロッパ世界の拡大・ルネッサンス・就業改革・ヨーロッパ諸国の海外進出・パ諸国の構想と主権国家体制	重商主義と啓蒙専制主義・ヨーロッパ諸国の海外進出・17～18世紀ヨーロッパの文化と社会	産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命とナポレオン	ウィーン体制の成立・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生・南北アメリカの発展・19世紀欧米の文化	オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の变容・南アジア・東南亜細亜の植民地化・東アジアの激動	帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立 アジア諸国の改革と民族運動	第一次世界大戦とロシア革命・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国・アジア・アフリカ地域の民族運動・世界恐慌とファシズム諸国の侵略・第二次世界大戦	戦後世界地図の形成とアジア諸地域の独立・米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興・第三世界の台頭と米ソの歩み寄り・石油危機と世界経済の再編	社会主義世界の変容とグローバル化・途上国の民主化と独裁政権の動揺・地域紛争の激化と深刻化する貧困	現代文明の諸地域	
<b>公民 政治経済</b>	現代の資本主義経済	経済主体と市場企業の役割	国民所得と景気変動 金融と日本銀行	財政と税金 戦後の日本経済	近年の日本経済	転機にたつ日本経済 中小企業と農業	消費者問題 公害防止と環境保全 労働問題と社会保障	貿易と国際収支 外国為替	戦後の国際経済	国際経済の動向	
<b>数学 数学 II</b>	微分法	接線の方程式	関数の増減と極大極小	グラフの応用	不定積分	定積分	定積分と面積	整数の性質	ユークリッドの互除法	1次不定方程式	
<b>理科 地学基礎</b>	地球の内部構造	地球の構成物質	火山活動と地震 プレートの運動	地層と化石	古生代の変遷と地球	大気構造と運動 大気の大循環	海洋の構造と海水の運動	太陽系と宇宙 太陽とその進化	宇宙の姿	日本の自然環境	
<b>総合</b>	進学希望者 ・昨年度の現状、今年度の指導の流れ ・補習・模試参加の意識づけ 就職希望者 ・心構え、概要説明 ・就職試験対策(過去問) ・面接練習		進学希望者 ・進路別学習・提出書類等に関する指導・小論文指導 就職希望者 ・就職試験対策(過去問)・求人票配布・事業所見学場所調整及び決定・履歴書下書き 【8月】		進学希望者 ・進路別学習 ・就職試験開始 ・指定校希望者指導 ・指定校決定 ・センター試験説明 就職希望者		進学希望者 ・進路別学習 ・センター試験出願 就職希望者 ・礼状作成		進路に関する探究活動 ・進路先についてのレポート作成 ・新聞記事を読んだ感想文作成 ・自分が生まれた地域についての調べ学習及びレポート		3年間の振り返り ・作文 ・クラス内発表
<b>体育</b>	集団行動 体づくり運動	球技① 男子・ソフトボール 女子・バレーボール ・バスケットボール 卓球	陸上 ・100M ・三段跳び ・砲丸投げ	球技② 男子・バレーボール 女子・バスケ		球技② 男女共修 ・バドミントン ・テニス ・卓球		まとめ			
<b>芸術 音楽 II</b>	歌唱「浜辺の歌」「ハナミズキ」		キーボード弾き歌い「夏祭り」 歌唱「ふるさと」「椰子の実」		ギターコード演奏「カントリーロード」 鑑賞(ミュージカルについて)		ギター弾き語り「SecretBase」など		アンサンブル演奏(選択楽器)自由曲		
<b>芸術 美術 II</b>	デッサン(胸像)		スクラッチ		漫画表現		ペーパークラフト		フィギュア製作		
<b>英語 Ⅱ英語 II</b>	A Long Friendship 国際協調について		Charlie and Chocolate Factory 物語について学ぶ		My Friend in Hawaii 自己紹介について		Streetcars in My City 路面電車について		Crossing Language Barriers 外国語を学ぶ意義につ		The Spirit of the Forest 野生動物について
<b>英語 英語会話</b>	New Friends 新しい友人作りについての会話	Free Time 余暇についての会話 Are you okay? 体調についての会話	The Host Family's House ホームステイ生活での会話 Our School 学校についての会話	Weather 天気についての会話	TV Programs 好きなものについての会話	Talking on a Phone 携帯特有の表現方法 Telling the way 道案内についての会話	School Life 海外生活や学校についての会話 Kyoto 乗り物での行き方についての会話	Shopping 買い物についての会話 Restaurant 食事の注文方法	Making a Plan 誘いかた、応じ方	Future Jobs 将来自分がやりたい仕事についての会話	
<b>保育と生活教養</b>	情報伝達とマナー	被服製作	被服製作	調理実習	調理実習 胎児と新生児の発育	乳幼児の発育 乳幼児の精神発達 指導の原理	環境をととのえる保育	被服製作	年中行事とマナー	フォーマルとマナー	
<b>情報 課題研究</b>	課題研究(個人) 準備・発表・評価		課題研究(グループ) グループ決め・準備・発表・評価								
<b>情報 情報と問題解決</b>	第1章 問題解決の概要		第2 問題の発見と解決		第3章 問題解決のための最適化技法		第4章 コンピュータシミュレーションによる問題解決		第5章 問題解決の過程と結果の評価		
<b>情報 情報デザイン</b>	第1章 デザイン・情報・造形の基礎 プレゼンテーション				第2章 デザインと表現 プレゼンテーション				第3章 デザインの実際		
<b>情報 システム実習</b>	プログラミング基礎		scratchプログラミング 初級編		scratchプログラミング 中級編		ドットルプログラミング 初級編		ドットルプログラミング 中級編		プログラミング応用/ プレゼンテーション課題作成
<b>情報 コンテンツ実習</b>	プログラミング基礎		scratchプログラミング 初級編		scratchプログラミング 中級編		ドットルプログラミング 初級編		ドットルプログラミング 中級編		プログラミング応用/ プレゼンテーション課題作成

## 【添付資料 7】

### カリキュラム・マネジメントの在り方に関する研究についての職員アンケート（集計結果）

令和2年1月  
令和元年12月23日実施

昨年度、今年度の2年間、本校が取り組んだ研究について、先生方のご意見を踏まえ次年度の取組に生かしたいと思えます。下のアンケートにご回答ください。

1～4については、下の①～④でお答えください。5についてはA～Cでお答えください。

- ①「そう思う」 ②「どちらかと言えばそう思う」  
③「どちらかと言えばそう思わない」 ④「そう思わない」

#### 1 グランドデザインの作成

番号	項目		～1.75	～2.5	～3.25	3.25～
			1	2	3	4
1-1	グランドデザインを作成することにより、学校全体の課題がわかった。	平均		2.2		
		人数	2	24	2	3
1-2	グランドデザインを作成することにより、学校の進むべき方向性が定まった。	平均		2.3		
		人数	2	19	8	2
1-3	グランドデザインを作成することにより、分掌・学年・教科として何をすべきか明確になった。	平均		2.3		
		人数	2	21	6	2

#### 2 グランドデザインの実現（教育目標や育成したい資質・能力、重点目標の実現）

番号	項目		～1.75	～2.5	～3.25	3.25～
2-1	個人として教育目標や重点目標の実現に向け努力できた。	平均		2.3		
		人数	5	17	6	3
2-2	教科として教育目標や重点目標の実現に向け努力できた。	平均		2.2		
		人数	5	18	5	3
2-3	分掌として教育目標や重点目標の実現に向け努力できた。	平均			2.5	
		人数	1	16	10	4
2-4	学年として教育目標や重点目標の実現に向け努力できた。	平均		2.2		
		人数	3	18	6	4

#### 3 グランドデザイン（教育目標や育成したい資質・能力、重点目標）の振り返り

番号	項目		～1.75	～2.5	～3.25	3.25～
3-1	個人として教育目標や重点目標を十分振り返ることができた。	平均		2.1		
		人数	7	18	3	3
3-2	教科として教育目標や重点目標を十分振り返ることができた。	平均		2.2		
		人数	5	18	5	3
3-3	分掌として教育目標や重点目標を十分振り返ることができた。	平均			2.6	
		人数	1	15	11	4
3-4	学年として教育目標や重点目標を十分振り返ることができた。	平均			2.6	
		人数	0	16	10	5

#### 4 「カリキュラム・マネジメントの在り方に関する研究」による学校・個人の変容

番号	項目		～1.75	～2.5	～3.25	3.25～
4-1	本研究をきっかけに、カリキュラム・マネジメントに関心を持つようになった。	平均			2.5	
		人数	6	9	9	7
4-2	本研究をきっかけに、授業改善により関心をもつようであった。	平均		2.1		
		人数	8	15	6	2
4-3	本研究をきっかけに、今後の東浦高校のことを考えるようになった。	平均		2.1		
		人数	7	15	6	2
4-4	本研究をきっかけに、学校改善に関心を持つようになった。	平均		2.1		
		人数	9	13	7	2

#### 5 「カリキュラム・マネジメントの在り方に関する研究」の評価

- A おおむね達成している B 次年度の取り組みが重要である  
C ほとんど達成されていないので見直しが必要である

	A	B	C
人数	2	26	2
割合	7%	87%	7%

#### 6 その他（改善提案）

- ・研修時期を検討すべき⇒再調査学習会と分けるべき
- ・教科としてどう取り組んだらよいかを考えることはできたが、学年・分掌においてはそこまで考えることができなかった。それぞれの立場で自分には何ができるかを考えていきたい。2
- ・グランドデザインを生徒に配布するのはどうか。
- ・学年集会や総会とかで説明したり、生徒の意見を聞いたりすると、学校全体で動いていることが実感できると思う。
- ・現職研修でなくても、平日頃からこういうことを学年・分掌・教科で言い合える雰囲気があるとよい。
- ・学力の3観点をまず、教員が理解する必要がある。
- ・多忙化解消も含めたカリキュラム・マネジメントも考える必要がある。
- ・このような研修を続けてほしい。
- ・「何に苦勞をしたか」ということについても語り合える場だと嬉しい。
- ・グランドデザインに対する評価が大切だと思います。
- ・昔から職員室での会話や職員会議でやっていたことを改めてやらなければならぬのは少し寂しい。
- ・教員の意思統一、協力、そして地域との連携がとても重要だと思う。
- ・意見をもとにした教育課程のみならず、年間行事計画のよい見直しがあれば、と思う。
- ・学習指導要領を踏まえた言葉だと、先生方が実感しにくい気がする。それぞれの実状を共有しあい、互いに工夫を考え励ましあう時間になるとよい。
- ・学校経営案や学習指導要領などを見直すきっかけになった。アクティブラーニングや授業のより詳しいスキルを知りたい。

# 【添付資料 8】

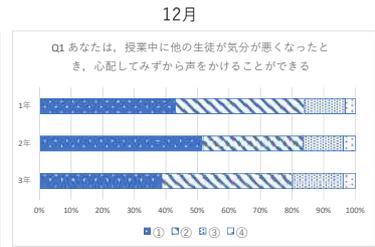
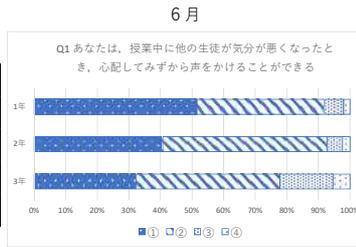
生徒カリキュラム・マネジメントアンケート 6月・12月比較

## A「自校の児童・生徒につけさせたい資質・能力に」についての質問

### 1 他者に対する配慮・思いやりの心

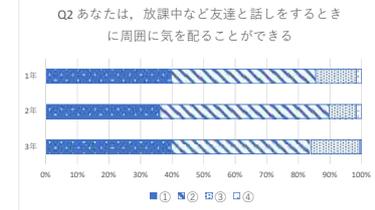
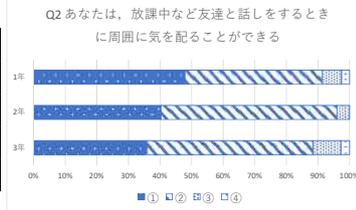
1) Q1 あなたは、授業中に他の生徒が気分が悪くなったとき、心配してみずから声をかけることができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	32.3	45.5	16.9	5.3	38.7	41.4	16.1	3.8
2年	38.7	49.5	4.7	2.2	46.6	28.6	11.4	3.4
1年	51.5	40.3	6.1	2.0	43.0	40.9	12.9	3.2



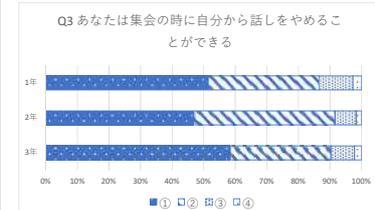
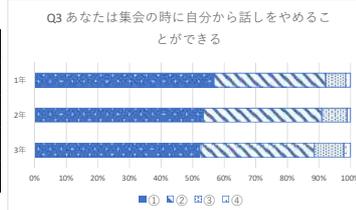
2) Q2 あなたは、放課中など友達と話しをするときに周囲に気を配ることができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	36.0	52.4	9.0	2.6	39.8	44.1	15.6	0.5
2年	40.3	55.7	4.0	0.0	36.4	53.4	8.5	1.7
1年	48.0	43.4	6.1	2.5	39.8	45.7	12.9	1.6



3) Q3 あなたは集会の時に自分から話しをやめることができる

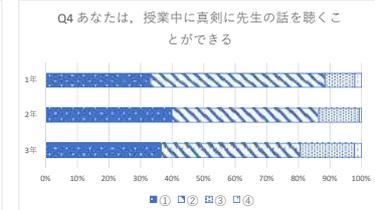
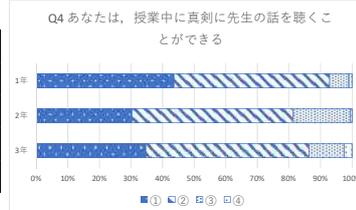
	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	52.6	35.8	9.5	2.1	58.6	31.7	7.5	2.2
2年	53.4	37.5	8.0	1.1	47.2	44.4	6.7	1.7
1年	56.9	35.3	6.4	1.5	51.6	34.9	10.8	2.7



### 2 まっすぐに取り組む姿勢

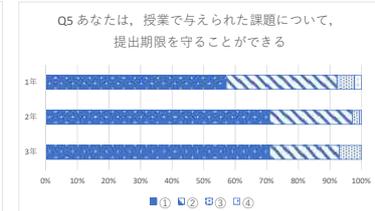
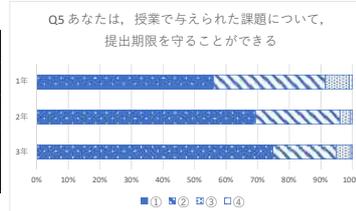
4) Q4 あなたは、授業中に真剣に先生の話を聴くことができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	34.7	51.8	11.1	2.5	36.6	44.1	17.2	2.2
2年	33.0	55.7	19.8	0.6	32.0	37.1	10.3	0.6
1年	43.7	49.2	6.1	1.0	33.2	55.3	9.5	2.1



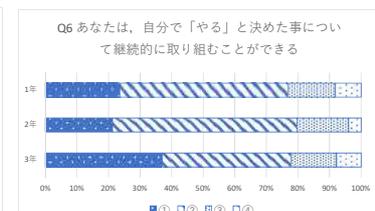
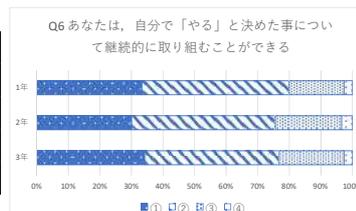
5) Q5 あなたは、授業で与えられた課題について、提出期限を守ることができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	74.7	20.0	4.7	0.5	71.0	22.0	7.0	0.0
2年	69.7	26.7	3.4	0.6	71.0	26.1	2.3	0.6
1年	56.1	35.4	7.6	1.0	57.3	34.8	5.6	2.2



6) Q6 あなたは、自分で「やる」と決めた事について継続的に取り組むことができる

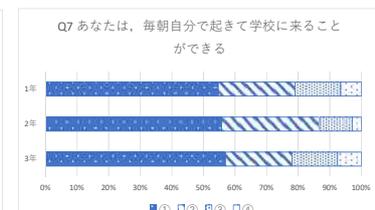
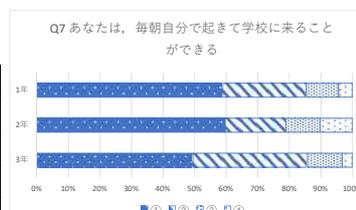
	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	34.4	42.3	20.6	2.6	38.7	42.5	15.1	8.1
2年	30.1	45.5	21	3.4	21.3	58.4	16.3	3.9
1年	33.3	46.7	17.4	2.6	23.7	53.2	15.1	8.1



### 3 自ら考えて、行動する力

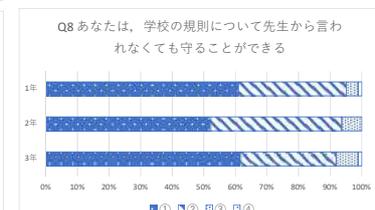
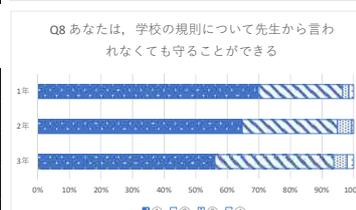
7) Q7 あなたは、毎朝自分で起きて学校に来ることができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	49.5	36.3	11.1	3.2	57.0	21.0	14.5	7.5
2年	59.7	19.3	10.8	10.2	55.7	31.0	10.3	2.9
1年	61.9	27.8	10.7	4.6	54.8	24.2	14.5	6.5



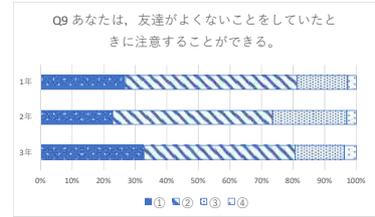
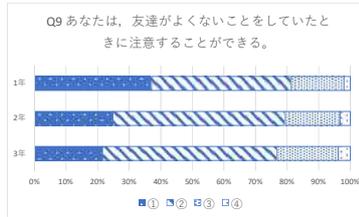
8) Q8 あなたは、学校の規則について先生から言われなくても守ることができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	56.1	37.6	4.2	2.1	61.8	30.1	7.0	1.1
2年	64.8	30.1	4.5	0.6	52.3	41.5	6.3	0.0
1年	70.1	26.4	2.0	1.5	61.0	34.2	3.7	1.1



9) Q9 あなたは、友達がよくないことをしていたときに注意することができる。

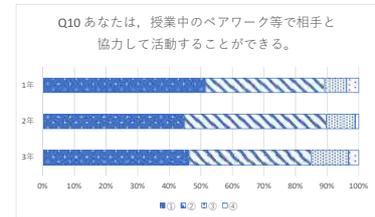
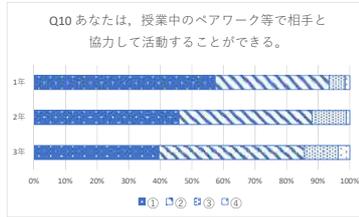
	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	21.6	55.3	19.5	3.7	32.8	47.8	15.6	3.8
2年	26.1	57.3	18.2	3.4	22.9	50.6	23.5	3.0
1年	37.1	44.2	16.8	2.0	26.9	54.3	16.1	2.7



4 仲間と協力する姿勢

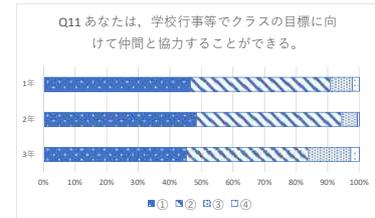
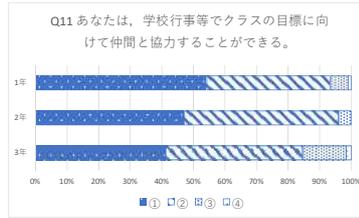
10) Q10 あなたは、授業中のペアワーク等で相手と協力して活動することができる。

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	39.7	46.0	10.6	3.7	46.5	38.5	11.8	3.2
2年	46.0	42.0	10.8	1.1	44.9	44.9	9.1	1.1
1年	57.4	36.0	5.1	1.5	51.6	37.6	7.0	3.8



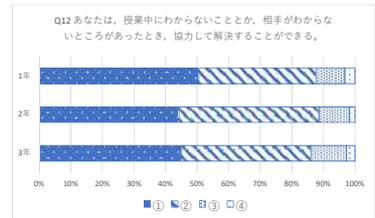
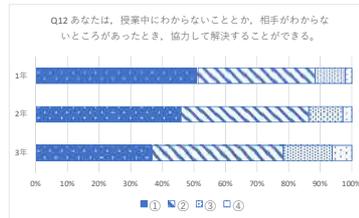
11) Q11 あなたは、学校行事等でクラスの目標に向けて仲間と協力することができる。

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	41.3	43.4	13.8	1.6	45.2	38.7	13.4	2.7
2年	47.2	48.9	4.0	0.0	46.0	43.8	4.7	0.6
1年	54.3	39.1	5.6	1.0	46.5	44.3	7.0	2.2



12) Q12 あなたは、授業中にわからないことや、相手がわからないところがあったとき、協力して解決することができる。

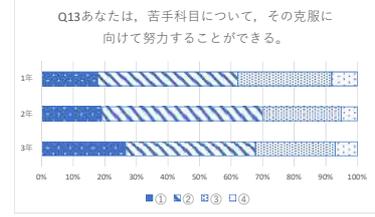
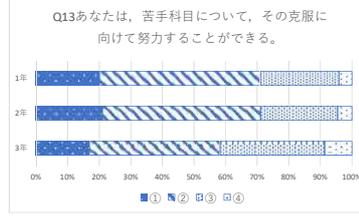
	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	36.8	41.5	15.5	6.2	45.2	40.9	11.3	2.7
2年	46.0	40.3	10.8	2.8	44.3	44.3	9.7	1.7
1年	51.3	37.1	9.6	2.0	50.5	37.1	9.1	3.2



5 困難を前にしても、くじげず、あきらめず、努力する生徒

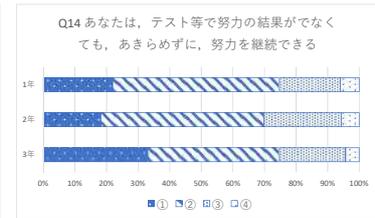
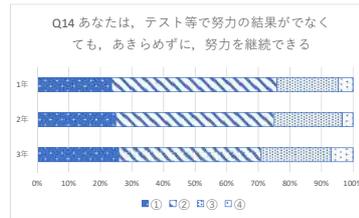
13) Q13 あなたは、苦手科目について、その克服に向けて努力することができる。

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	17.1	41.2	33.2	8.6	26.9	40.9	25.3	7.0
2年	21.0	50.0	24.4	4.5	19.2	50.8	24.9	5.1
1年	20.3	50.8	24.9	4.1	17.8	44.3	29.7	8.1



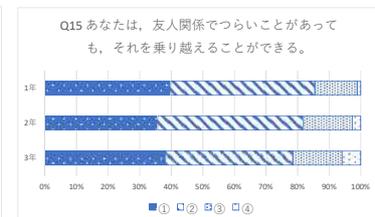
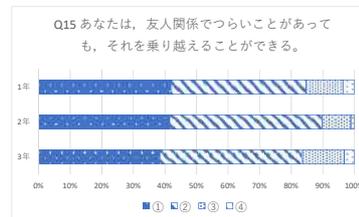
14) Q14 あなたは、テスト等で努力の結果がなくても、あきらめずに、努力を継続できる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	25.9	45.0	22.2	6.9	33.3	41.4	21.0	4.3
2年	25.0	50.0	21.6	3.4	18.2	51.7	24.4	5.7
1年	23.6	52.3	19.5	4.6	22.0	52.7	19.4	5.9



15) Q15 あなたは、友人関係でつらいことがあっても、それを乗り越えることができる。

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	38.6	45.0	13.3	3.2	38.2	40.3	15.6	5.9
2年	41.5	48.3	9.1	1.1	37.5	48.3	16.4	2.8
1年	42.1	42.6	11.7	3.6	39.8	45.7	13.4	1.1

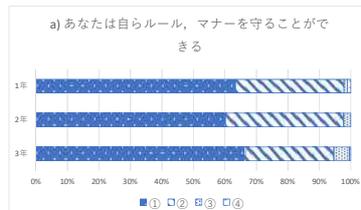
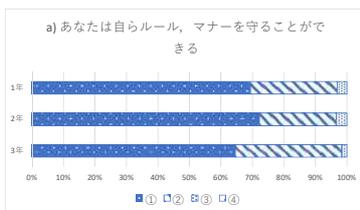


B 学年目標に対する質問

学年共通

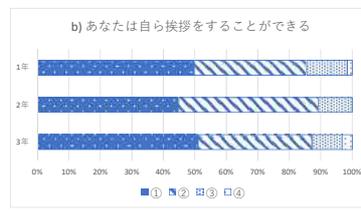
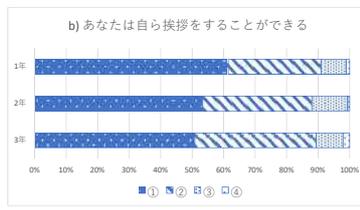
a) あなたは自らルール、マナーを守ることができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	64.6	33.9	1.6	0.0	66.5	28.1	4.9	0.5
2年	72.2	24.4	3.4	0.0	60.2	37.5	2.3	0.0
1年	69.5	27.4	3.0	0.0	63.4	34.4	1.1	1.1



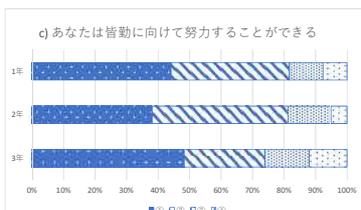
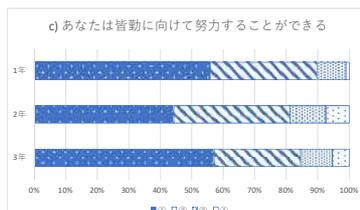
b) あなたは自ら挨拶をすることができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	50.8	38.6	8.5	2.1	51.1	36.2	9.6	3.2
2年	53.4	34.7	11.4	0.6	44.9	44.3	10.8	0.0
1年	61.4	29.4	8.1	1.0	50.0	35.5	12.9	1.6



c) あなたは皆勤に向けて努力することができる

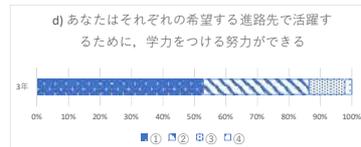
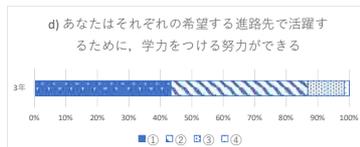
	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	57.1	27.5	10.1	5.3	48.4	25.5	14.1	12
2年	44.3	36.9	11.4	7.4	38.1	43.2	13.6	5.1
1年	55.8	34	9.1	1	44.1	37.6	10.8	7.5



学年独自項目

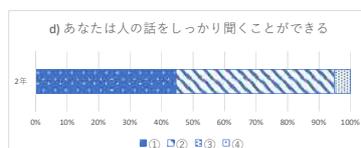
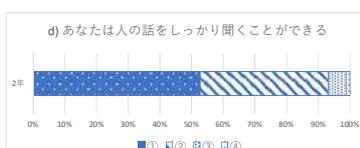
d) あなたはそれぞれの希望する進路先で活躍するために、学力をつける努力ができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	43.4	43.4	11.6	1.6	53.0	33.5	11.4	2.2



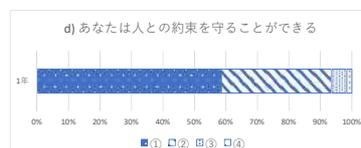
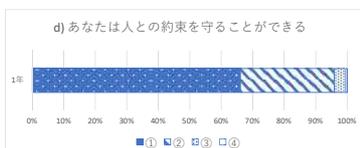
d) あなたは人の話をしっかり聞くことができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
2年	52.8	40.3	5.7	1.1	44.6	50.3	5.1	0.0



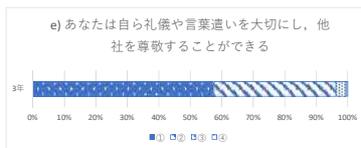
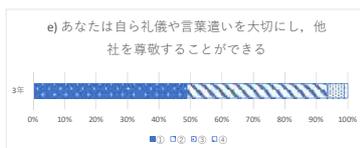
d) あなたは人との約束を守ることができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
1年	66.2	29.7	3.6	0.5	58.6	34.9	4.8	1.6



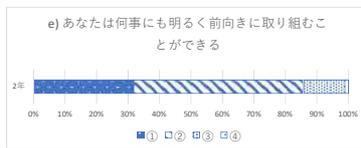
e) あなたは自ら礼儀や言葉遣いを大切にし、他社を尊敬することができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
3年	48.9	44.7	5.3	1.1	57.5	38.7	3.2	0.5



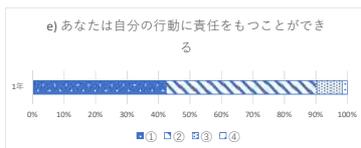
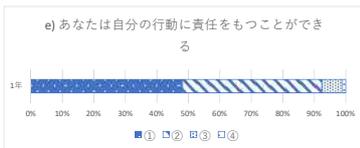
e) あなたは何事にも明るく前向きに取り組むことができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
2年	36.9	44.3	15.9	2.8	31.8	54.0	13.1	1.1



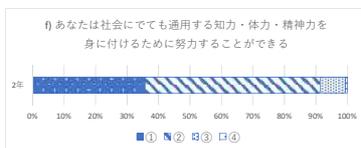
e) あなたは自分の行動に責任をもつことができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
1年	48.2	44.2	6.6	1.0	42.5	47.8	8.1	1.6



f) あなたは社会にでも通用する知力・体力・精神力を身に付けるために努力することができる

	6月				12月			
	①	②	③	④	①	②	③	④
2年	42.6	46.0	10.8	0.6	35.8	55.7	8.0	0.6



【添付資料 9】  
(ワークシート)

学年 ( ) 教科 ( ) 名前 ( )

本校の教育目標と重点目標・育成する資質・能力

教育目標：

「知性をみがき、公正な判断力をもつ人」「自他を愛し、情操豊かな社会性のある人」「心身を鍛え、責任感と実行力のある人」

育成したい資質・能力：

「他者に対する配慮・思いやりの心」「真っ直ぐに取り組む姿勢」

「自ら考えて判断、行動する力」「仲間と協力する姿勢」「困難を前にしても、くじけず、あきらめず、努力する生徒」

担当教科における育成を目指す資質・能力は



知識・技能

共有したこと

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

今までの授業を振り返って、目指す資質・能力を育成することが



できていること (取り組んでいること)

**ピンク色の付箋に記入** (記入後メモ欄にひかえる)  
(メモ欄)

共有したこと

(メモ欄)

「できていないこと」を「できていること」にするために



できていないこと

(メモ欄)

これからはじめよう **黄色の付箋に記入** (記入後、メモ欄にひかえる)  
(メモ欄)

**省察** 他の人の取組も参考にして



自分の授業で

からやってみようと思います。